

令和 2 年度

幼児教育実態把握に関する調査の結果

令和 3 年 3 月

山梨県教育委員会



I 調査概要 . . . . . 1

- 1. 調査の趣旨
- 2. 調査期間
- 3. 調査対象・調査方法・回答数
- 4. 調査の構成

II 調査結果の概要 . . . . . 3

- 1. 幼児の育ち . . . . . 3
- 2. 子育て・家庭教育 . . . . . 3
- 3. 園・所における教育・保育 . . . . . 4
- 4. 保育者の資質向上 . . . . . 5
- 5. 保幼小連携 . . . . . 7
- 6. 特別な配慮を必要とする乳幼児への教育・保育 . . . . . 9
- 7. 子育て支援 . . . . . 10

III 調査結果 . . . . . 13

- 1. 幼児の育ち . . . . . 13
- 2. 子育て・家庭教育 . . . . . 15
- 3. 園・所における教育・保育 . . . . . 18
- 4. 保育者の資質向上 . . . . . 21
- 5. 保幼小連携 . . . . . 31
- 6. 特別な配慮を必要とする乳幼児への教育・保育 . . . . . 42
- 7. 子育て支援 . . . . . 49

# Ⅰ 調査概要

## 1. 調査の趣旨

幼児教育の充実を図ることを目的として、県内の幼児の育ちの状況、幼稚園・保育所・認定こども園や小学校及び家庭等の実態を把握し、本県の幼児教育の方向性を示す「幼児教育振興プログラム」の策定、それに関わる今後の施策の具体化に活用する。

## 2. 調査期間

令和2年12月2日（水）～令和2年12月28日（月）

## 3. 調査対象・調査方法・回答数

区分	幼稚園、保育所、認定こども園等				小学校		子育て支援施設
対象	園長・所長	年長児担任	年長児保護者	3歳未満児保護者	校長	1年生担任	地域子育て支援拠点
調査方法	Excel調査票の送付	Webアンケート調査	Webアンケート調査	Webアンケート調査	Webアンケート調査	Webアンケート調査	Webアンケート調査
回答数	174件	211件	1,409件	1,462件	138件	201件	55件

※ 国公立幼稚園・保育所・幼保連携型認定こども園 283 施設

※ 公立小学校 167 施設

※ 地域子育て支援拠点 85 施設

## 4. 調査の構成

### (1) 幼稚園・保育所・認定こども園調査

調査票	調査①	調査②
対象	全園・所の園長・所長	全園・所の年長児担任
内容	園・所における教育・保育 保育者の資質向上 保幼小連携 特別な配慮を必要とする乳幼児への教育・保育 子育て支援	幼児の育ち 保育者の資質向上 保幼小連携

### (2) 保護者調査

調査票	調査③	調査④
対象	全園・所の年長児保護者（各園・所で1クラス以上抽出）	3歳未満児クラスがある全園・所の3歳未満児保護者（各園・所で1クラス以上抽出）
内容	幼児の育ち 子育て・家庭教育 園・所における教育・保育 保幼小連携 子育て支援	子育て・家庭教育 園・所における教育・保育 子育て支援

(3) 小学校調査

調査票	調査⑤	調査⑥
対象	全小学校の校長	全小学校の1年生担任
内容	保育者の資質向上 保幼小連携	保幼小連携

(4) 子育て支援施設調査

調査票	調査⑦
対象	地域子育て支援拠点（地域子育て支援センター／つどいの広場）
内容	子育て支援

## II 調査結果の概要

### 1. 幼児の育ち

#### ①幼児の育ちの状況

【回答者：年長児担任 P.13 年長児保護者 P.14】

幼児の育ちの姿について、「あてはまる」と回答した結果は次のとおりであった。

	年長児担任	年長児保護者
上位3項目	ア 遊びに集中し、より楽しくなるようなアイデアを出したり工夫したりする	
	セ 自らやりたいことを見つけて、伸び伸び遊ぶ	
	カ 絵本やお話などに興味・関心をもって、聞いたり、自分で読んだりする	シ 自然などの身近な環境に関わり、気付いたり感じたりしたことを表現する
下位3項目	ソ いざこざ場面などで双方の気持ちを代弁したり、解決への方法を提案したりしている	
	ス 新しいことや苦手なことも物怖じせずやってみようとする	
	キ 自分の感情を爆発させるのではなく、言葉で自分の気持ちを伝えたり相手の思いを聞いたりする	
	エ 思いや意見の食い違いが起こっても、相手の思いを聞いて折り合いを付けて遊びをすすめていく	

※各項目の記載は、回答割合の順序ではない。

### 2. 子育て・家庭教育

#### ①子育てで感じていること

【回答者：年長児保護者・3歳未満児保護者 P.15】

子育てで感じていることについて、次のとおり回答があった。

〈子どもを育てていてよかったこと等の内容〉

	年長児保護者	3歳未満児保護者
上位3項目	ア 子どもの成長によるこびを感じる	
	ウ 子どもとのふれあいや対話が楽しい	
	イ 子どもを育てるのは楽しくて幸せなことだと思う	
	エ 子どもがかわいくてたまらないと思う	

〈負担に思うことや悩み等の内容〉

	年長児保護者	3歳未満児保護者
上位3項目	コ 子どもと関わる時間をもっと持つことができればよいのにと感じる	
	カ 子育てに失敗しないように、親としてプレッシャーや焦りを感じることもある	
	ク 子どもが自分であることを待てないことがあるなど、気持ちに余裕をもって子どもに接することが難しい	キ 子どもの成長の度合いが気になる

※各項目の記載は、回答割合の順序ではない。

②子育てや家庭教育に関する悩みや気になることの相談方法

【回答者：年長児保護者・3歳未満児保護者 P.16】

相談方法について、次のとおり回答があった。

	年長児保護者	3歳未満児保護者
上位3項目	ア 配偶者・パートナー	
	エ 子育ての仲間や子育て経験がある友人・知人	
	イ あたなや配偶者・パートナーの親	
下位3項目	ケ モバイルアプリケーション	
	サ 県や市町村の広報紙	
	シ 悩みや気になることがあっても、今は仕方ないとあきらめる	

③子育てや家庭教育に関する悩みや気になることの相談内容

【回答者：年長児保護者・3歳未満児保護者 P.17】

相談内容について、次のとおり回答があった。

	年長児保護者	3歳未満児保護者
上位3項目	ア 子どもとの関わり方やしつけなどの子育ての方法に関する事	
	イ 子どもの生活習慣に関する事	
	ウ 子どもの行動や性格に関する事	
下位3項目	オ 先輩保護者などの子育て体験談に関する事	
	キ 地域の子育て支援の提供に関する事	
	カ 子育て環境の悩みに関する事	

※各項目の記載は、回答割合の順序ではない。

### 3. 園・所における教育・保育

①園・所が保育について特に重視して取り組んでいること・保護者が保育について特に望んでいること

【回答者：園長・所長 P.18 年長児の保護者・3歳未満児の保護者 P.19】

園・所が重視している保育と、保護者が望んでいる保育について、次のとおり回答があった。

	園長・所長	年長児保護者	3歳未満児保護者
上位3項目	ア 自分を発揮して伸び伸び遊ぶこと		
	ウ 基本的な生活習慣を身につけること		
	カ 人への思いやりをもつこと		
下位3項目	ス 外国語に親しむこと		
	シ 外国などの多様な文化に親しむこと		
	サ 文字や数を習得すること	セ 園外において演奏活動等に参加する機会があること	

※各項目の記載は、回答割合の順序ではない。

②自然体験活動の取組

【回答者：園長・所長 P.20】

自然体験活動の取組について、98%の園・所で保育計画に入れ、取り組んでいると回答している。  
取組内容は、次のとおりであった。

	園長・所長
上位3項目	ア 身近な自然素材に触れながら遊ぶ
	ウ 園庭で遊ぶ
	エ 近所のお散歩
下位3項目	キ 川や湖で遊ぶ
	サ 日帰りや宿泊でキャンプを行う
	イ 動物に触れる

4. 保育者の資質向上

①教育・保育の実践における課題

【回答者：年長児担任 P.21】

教育・保育の実践に課題があると感じている年長児担任は、99.5%であった。  
課題の内容は次のとおりであった。

	年長児担任
上位3項目	イ 教育・保育内容
	キ 保護者への対応
	カ 小学校との連携の内容や方法、小学校入学を見通した年長児の指導計画の作り方 (保幼小の連携)
下位3項目	ク 上司や同僚との関係
	エ 指導計画の書き方
	ア 乳幼児理解や乳幼児の姿の見取り方

②教員・保育士等に特に必要な研修内容

【回答者：園長・所長 P.22 年長児担任 P.23】

必要な研修内容について、次のとおり回答があった。

	園長・所長	年長児担任
上位3項目	ア 子どもの発達や理解の見取り方	
	エ 特別な支援を要する子どもの理解や関わり方	
	イ 子どもへの関わり方	キ 保護者支援・子育て支援の内容や方法
下位3項目	ス 法律・制度	
	サ 小学校との連携の内容や方法、小学校入学を見通した年長児の指導計画の作り方 (保幼小の連携)	コ 指導計画の作成
	オ 運動、遊びの実技指導	ケ 保健衛生・安全対策

※各項目の記載は、回答割合の順序ではない。

③教育・保育士等の資質向上のために必要な仕組み

【回答者：園長・所長 P.24】

資質向上のために必要な仕組みについて、次のとおり回答があった。

	園長・所長
上位3項目	カ 研修に参加する機会の確保
	ウ 公開保育、研究発表会、事例研究会など教育・保育を学び合う機会
	ア 他の園・所との合同研修
下位3項目	エ 他の園・所や小学校などへの長期派遣研修
	イ 学校など教育機関との合同研修
	オ 幼児教育アドバイザーによる訪問

④令和元年度に行った園内研修の回数

【回答者：園長・所長 P.25】

最も選択率が高い回数は、「エ 11回～15回」である。

⑤令和元年度に受講した園外研修の回数

【回答者：年長児担任 P.26】

最も選択率が高い回数は、「イ 1回～3回」である。

⑥職員に身につけさせたいと思う資質・能力、保育者として身につけたいと思う資質・能力

【回答者：園長・所長 P.27 年長児担任 P.28】

保育者の資質・能力について、次のとおり回答があった。

	園長・所長	年長児担任
上位3項目	エ 幼稚園教育要領、保育所保指針等の各領域を踏まえた幅広い視野が持てる力	
	コ 学び続ける意欲と力	
	キ 人間関係をうまく作る力	イ 教材研究
下位3項目	ア 事務処理の能力と知識	
	ク 社会や人についての知識や思考	
	ケ 地域や関係機関との連携	

※各項目の記載は、回答割合の順序ではない。

⑦免許・資格の保有状況

【回答者：園長・所長 P.29 校長 P.30】

園・所の職員について、選択率が最も高い項目は、「ウ 幼稚園教諭2種免許状と保育士資格」で、54%を占める。

小学校の教職員についての保有状況は、「ア 幼稚園教諭1種免許状」7%、「イ 幼稚園教諭2種免許状」3%、「ウ 保育士資格」1%、「エ 特別支援学校教諭免許状」9%である。

## 5. 保幼小連携

### ①保幼小連携・接続の意義

【回答者：園長・所長 P.31 校長 P.32 年長児担任 P.33 1年生担任 P.34】

保幼小連携・接続の意義について、次のとおり回答があった。

	園長・所長	年長児担任	1年生担任	校長
上位3項目	ア 子どもの発達や学びの連続性を見通した教育課程を編成するため			オ 小学校入学後の学習や学校生活での課題に対応するため
	イ 教育・保育内容や指導方法などについて相互理解を深めるため			
	キ 特別な支援を要する子どもに対応するため			

※各項目の記載は、回答割合の順序ではない。

	園長・所長	年長児担任
下位3項目	エ 卒園までに必要な事項を確認するため	
	オ 小学校入学後の学習や学校生活での課題に対応するため	
	カ 保護者の期待や不安に応えるための方法を明確にするため	

※各項目の記載は、回答割合の順序ではない。

	校長	1年生担任
下位3項目	エ 入学までに必要な事項を確認するため	
	カ 保護者の期待や不安に応えるための方法を明確にするため	
	ア 子どもの発達や学びの連続性を見通した教育課程を編成するため	ウ 園・所での子どもの様子を把握し、小学校での指導の参考とするため

※各項目の記載は、回答割合の順序ではない。

### ②園・所の連携・接続の取組状況

【回答者：園長・所長 P.35】

「行っている」の回答率が、90%であった。

### ③小学校の連携・接続の取組状況

【回答者：校長 P.36】

47%の校長が、「ステップ2」と回答しており、最も多い。

ステップ0	連携の予定・計画がまだない。
ステップ1	連携・接続に着手したいが、まだ検討中である。
ステップ2	年数回の授業、行事、研究会などの交流があるが、接続を見通した教育課程の編成・実施は行われていない。
ステップ3	授業、行事、研究会などの交流が充実し、接続を見通した教育課程の編成・実施が行われている。
ステップ4	接続を見通して編成・実施された教育課程について、実施結果を踏まえ、更によりよいものとなるよう検討が行われている。

④園・所の連携・接続の取組内容

【回答者：園長・所長 P.37】

園・所の連携・接続の取組について、各項目で最も選択率の高い内容は、次のとおりであった。

	園長・所長
児童と幼児の交流	ア 行事を通じた交流
教職員の連携	サ 入学時期前後の連絡会や聞き取り
保護者への取組	ネ 園・所の保護者向けの入学前小学校授業公開、懇談会、意見交換会など

⑤小学校の連携・接続の取組内容

【回答者：校長 P.38】

小学校の連携・接続の取組について、各項目で最も選択率の高い内容は、次のとおりであった。

	校長
児童と幼児の交流	イ 1、2年生の「生活科」を通じた交流
教職員の連携	サ 入学時期前後の連絡会や聞き取り
保護者への取組	ノ スタートカリキュラムについての説明
組織体制づくり	ヒ 校内における組織づくり

⑥保幼小の連携・接続の取組で重要だと思う内容

【回答者：1年生担任 P.39】

保幼小の連携・接続の取組で重要だと思う内容について、各項目で最も選択率の高い内容は次のとおりであった。

	1年生担任
児童と幼児の交流	イ 1、2年生の「生活科」を通じた交流
教職員の連携	サ 入学時期前後の連絡会や聞き取り
保護者への取組	ネ 園・所の保護者向け入学前小学校授業公開、懇談会、意見交換など
組織体制づくり	ヒ 校内における組織づくり

⑦小学校入学を見通した年長児の指導計画の作成・実施

【回答者：園長・所長 P.40】

「作成し、実施している」の回答率が、63%であった。

⑧小学校入学に際し、不安や心配事

【回答者：年長児保護者 P.41】

小学校入学に際し、不安や心配事については、次のとおり回答があった。

	年長児保護者
上位3項目	キ 学校生活に慣れることができるか
	イ 小学校の授業についていけるか
	エ 友達をつくることができるか
下位3項目	カ 一人で着替えができるか
	ア 不安や心配事はない
	ウ 給食やトイレがうまくできるか

6. 特別な配慮を必要とする乳幼児への教育・保育

①発達障害等の診断を受け特別な支援が必要な乳幼児の在籍状況

【回答者：園長・所長 P.42】

「1人～2人」いるが最も多い選択率で、39%であった。

②発達障害の診断は受けていないが、特別な支援が必要と感じている乳幼児の在籍状況

【回答者：園長・所長 P.43】

「3人～4人」いるが最も多い選択率で、29%であった。

③食物アレルギーにより特別な配慮が必要な乳幼児の在籍状況

【回答者：園長・所長 P.44】

「3人～4人」いるが最も多い選択率で、31%であった。

④海外から帰国または、外国籍で日本語の使用が困難な乳幼児の在籍状況

【回答者：園長・所長 P.45】

「1人～2人」いるが最も多い選択率で、23%であった。

⑤保護者の養育により特別な配慮が必要な乳幼児の在籍状況

【回答者：園長・所長 P.46】

「1人～2人」いるが最も多い選択率で、33%であった。

⑥特別な支援が必要な乳幼児に対応するため、現在行っている体制や取組

【回答者：園長・所長 P.47】

特別な支援が必要な乳幼児に対応するための体制や取組について、次のとおり回答があった。

	園長・所長
上位3項目	イ 乳幼児の実態把握
	コ 市町村の担当者による巡回相談等の活用
	ス 園外研修の参加
下位3項目	ア 園・所もおける委員会の組織
	ウ 特別支援コーディネーターの指名
	カ 特別支援学校のセンター的機能の活用

⑦特別な支援が必要な幼児の就学にあたり、園・所で行っている支援

【回答者：園長・所長 P.48】

就学にあたっての支援について、次のとおり回答があった。

	園長・所長
上位3項目	ア 小学校への申し送り
	ウ 市町村担当者による相談等活用
	エ 専門機関との連携

## 7. 子育て支援

①保護者からの相談内容

【回答者：園長・所長 P.49 子育て支援施設 P.50】

園・所で受ける保護者からの相談内容について、次のとおり回答があった。

	園長・所長
上位3項目	ア 子どもとの関わり方やしつけなどの子育ての具体的方法
	オ 子育てについての保護者の心配や不安などの気持ち
	ウ 子どもの行動や性格
	エ 子どもの育ちや成長
	イ 子どもの生活習慣
下位3項目	キ 子育て支援情報
	カ 子育て環境に関する悩み
	ク 保護者自身の心身の健康のための支援

	子育て支援施設
上位3項目	エ 子どもの育ちや成長 オ 子育てについての保護者の心配や不安などの気持ち
	ウ 子どもの行動や性格 ク 入園・所に関する悩み、情報提供
	ア 子どもとの関わり方やしつけなどの子育ての具体的方法

◇子育て支援施設の回答について全ての項目において高い選択率のため、上位3項目をここでは示している。

### ②園・所に期待する支援

【回答者：年長児保護者・3歳未満児保護者 P.51】

園・所に期待する支援について、次のとおり回答があった。

	年長児保護者	3歳未満児保護者
上位3項目	ア 子育てや家庭の教育について気軽に相談できる場や機会の提供	
	イ 園・所だよりやクラスだよりなどを通した子育て家庭教育についての日常的情報提供	
	キ 親子で一緒に参加できる行事などの提供	
下位3項目	カ 地域の人やボランティア団体、子育てサークルなどとの交流の機会の提供	
	ケ 特に支援は必要ないと思う	
	エ 保護者のニーズに応じた子育て・家庭教育に関する講演会、講座や研修会の開催	

### ③保護者に必要と感じる支援

【回答者：園長・所長 P.52 子育て支援施設 P.53】

保護者に必要と感じる支援について、次のとおり回答があった。

	園長・所長	子育て支援施設
上位3項目	ア 乳幼児の発達や関わり方の理解のための情報提供	
	ウ 子育てについて気軽に相談できる場や機会の提供	
	カ 地域の専門機関とつながるための支援	

※各項目の記載は、回答割合の順序ではない。

◇全ての項目において高い選択率のため、上位3項目をここでは示している。

④園・所における子育て支援

【回答者：園長・所長 P.54】

「行っている」の回答率が、88%であった。

⑤園・所で行っている子育て支援の内容

【回答者：園長・所長 P.55】

保護者に必要と感じる支援について、次のとおり回答があった。

	園長・所長
上位3項目	サ 行事への参加
	ウ 園・所職員による相談
	ア 園庭開放
下位3項目	カ 園・所職員による講座、講演
	ケ 子育てサロンの開放、子育てサークルの支援
	キ 外部講師による講座、講演

⑥子育て支援を行っている対象年齢

【回答者：園長・所長 P.56】

対象年齢の選択率は、次のとおりであり、3歳未満児の割合が高い。

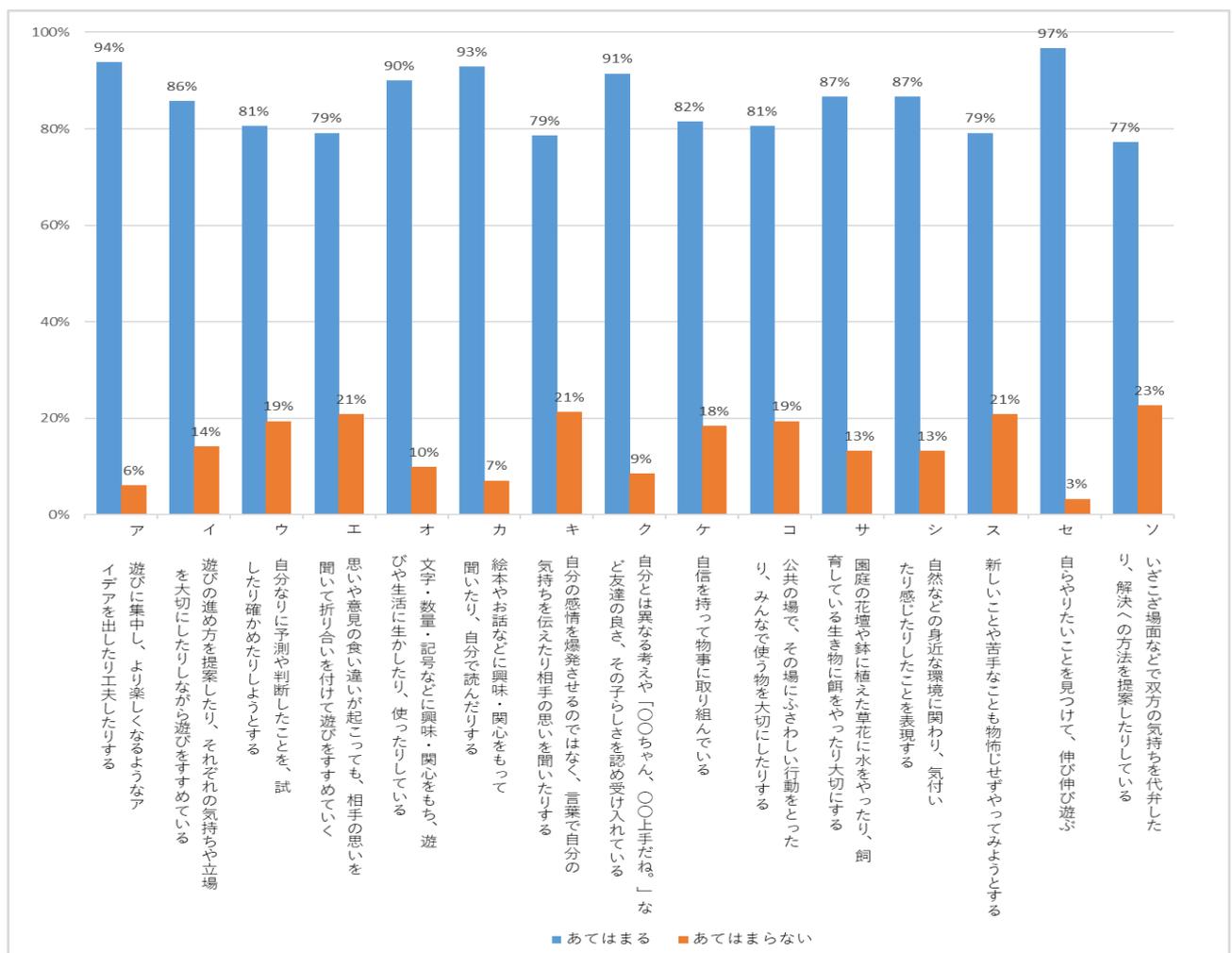
	園長・所長
0歳	71%
1歳	84%
2歳	87%
3歳	72%
4歳	56%
5歳	56%
6歳	49%

### III 調査結果

#### 1. 幼児の育ち

##### ①-1 幼児の育ちの状況【年長児担任】

回答者（人数）	年長児担任（211名）
質問内容	「ア」から「ソ」までの幼児の育ちの姿に関する項目が、現在担任しているクラス子どもたちに「1あてはまる」か「2あてはまらない」を選び、○をつけてください。



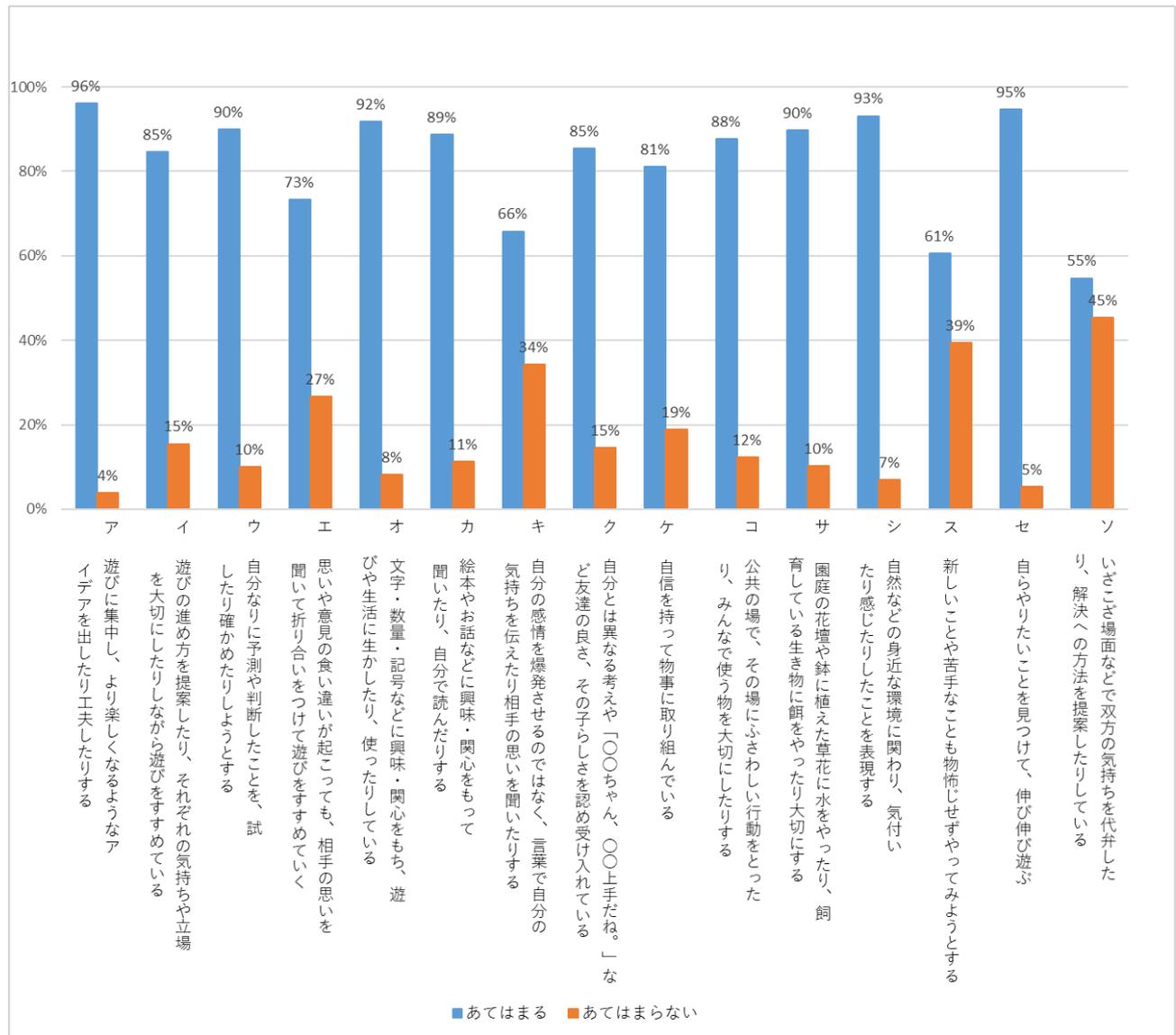
【幼児の育ちの状況<年長児担任>】

##### 〈調査結果〉

幼児の育ちの状況について年長担任が「あてはまる」と回答した上位3項目は「セ」「ア」「カ」、下位3項目は「ソ」以下同位で「エ」「キ」「ス」である。

①-2 幼児の育ちの状況【年長児保護者】

回答者（人数）	年長児保護者（1,409名）
質問内容	現在の年長児のお子様について、どのような姿が見られますか。次の「ア」から「ソ」のそれぞれの項目について、「1 あてはまる」または「2 あてはまらない」のいずれかに○をつけてください。



【幼児の育ちの状況<年長児保護者>】

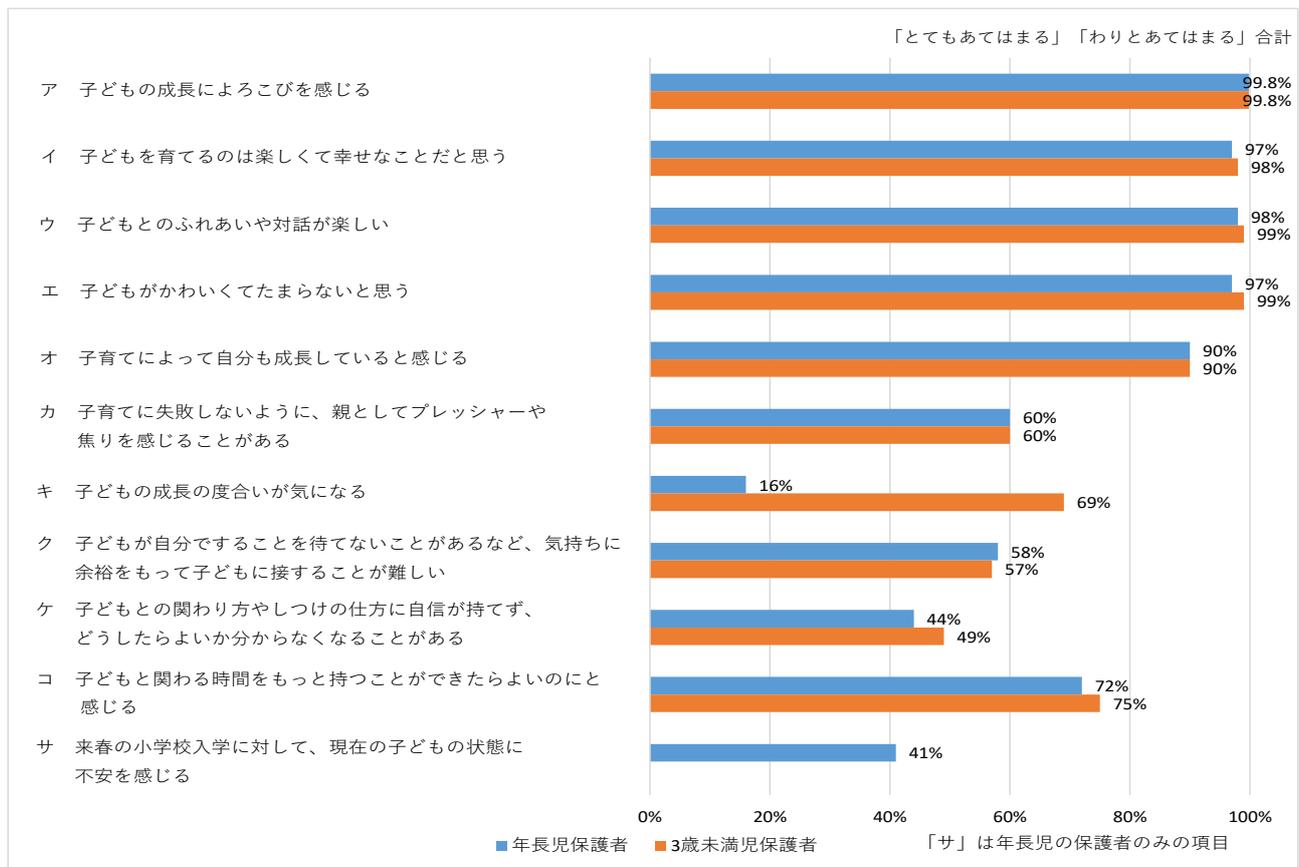
<調査結果>

幼児の育ちの状況について年長児の保護者が「あてはまる」と回答した上位3項目は「ア」「セ」「シ」、下位3項目は「ソ」「ス」「キ」である。

## 2. 子育て・家庭教育

### ①子育てで感じていること

回答者（人数）	年長児保護者（1,409名）・3歳未満児保護者（1,462名）
質問内容	子どもを育てていてよかったと思うこと、負担に思うことや悩みについて、次の「ア」から「サ」のそれぞれの項目について、「1とてもあてはまる」から「4まったくあてはまらない」の中からあてはまるものを1つずつ選び、○をつけてください。



### 【子育てで感じていること】

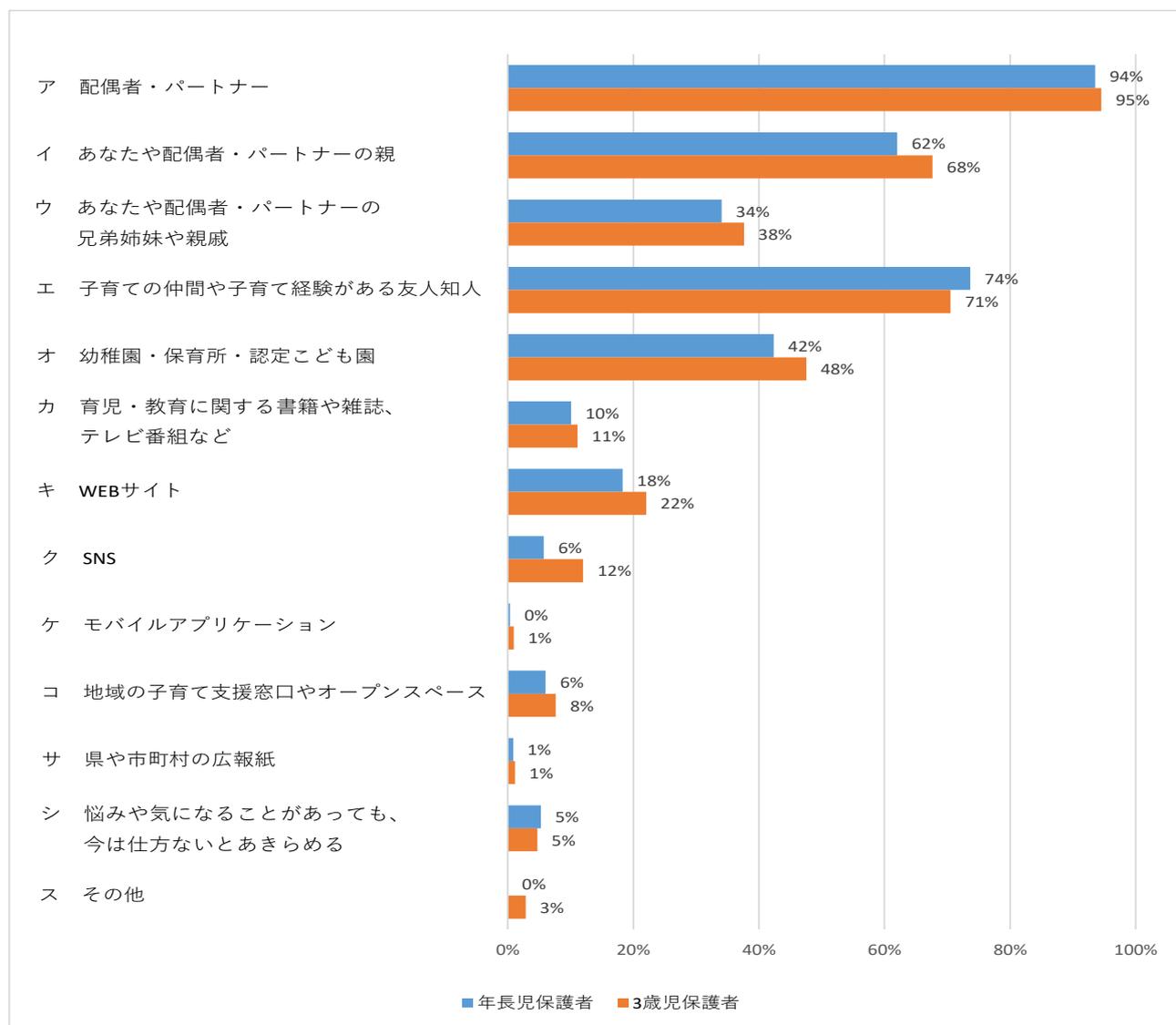
#### 〈調査結果〉

子どもを育てていてよかったと思うこと、負担に思うことや悩みについて、年長児・3歳未満児ともに99.8%の保護者が「ア 子どもの成長に喜びを感じる」と回答している。

また、年長児・3歳児未満児ともに95%以上の保護者が「イ 子どもを育てるのは楽しくて幸せなことだと思う」「ウ 子どもとのふれあいや対話が楽しい」「エ 子どもがかわいくてたまらないと思う」と回答している一方で、70%以上の保護者が「コ 子どもと関わる時間をもっと持つことができたらよいのと感じる」、60%の保護者が「カ 子育てに失敗しないように、親としてのプレッシャーや焦りを感じることもある」と回答している。

②子育てや家庭教育に関する悩みや気になることの相談方法

回答者（人数）	年長児保護者(1,409名)・3歳未満児保護者（1,462名）
質問内容	子育てや家庭教育に関する悩みや気になることをどのような方法で相談していますか。「ア」から「ス」の項目の中から、特にあてはまるものを5つまで選び、○をつけてください。



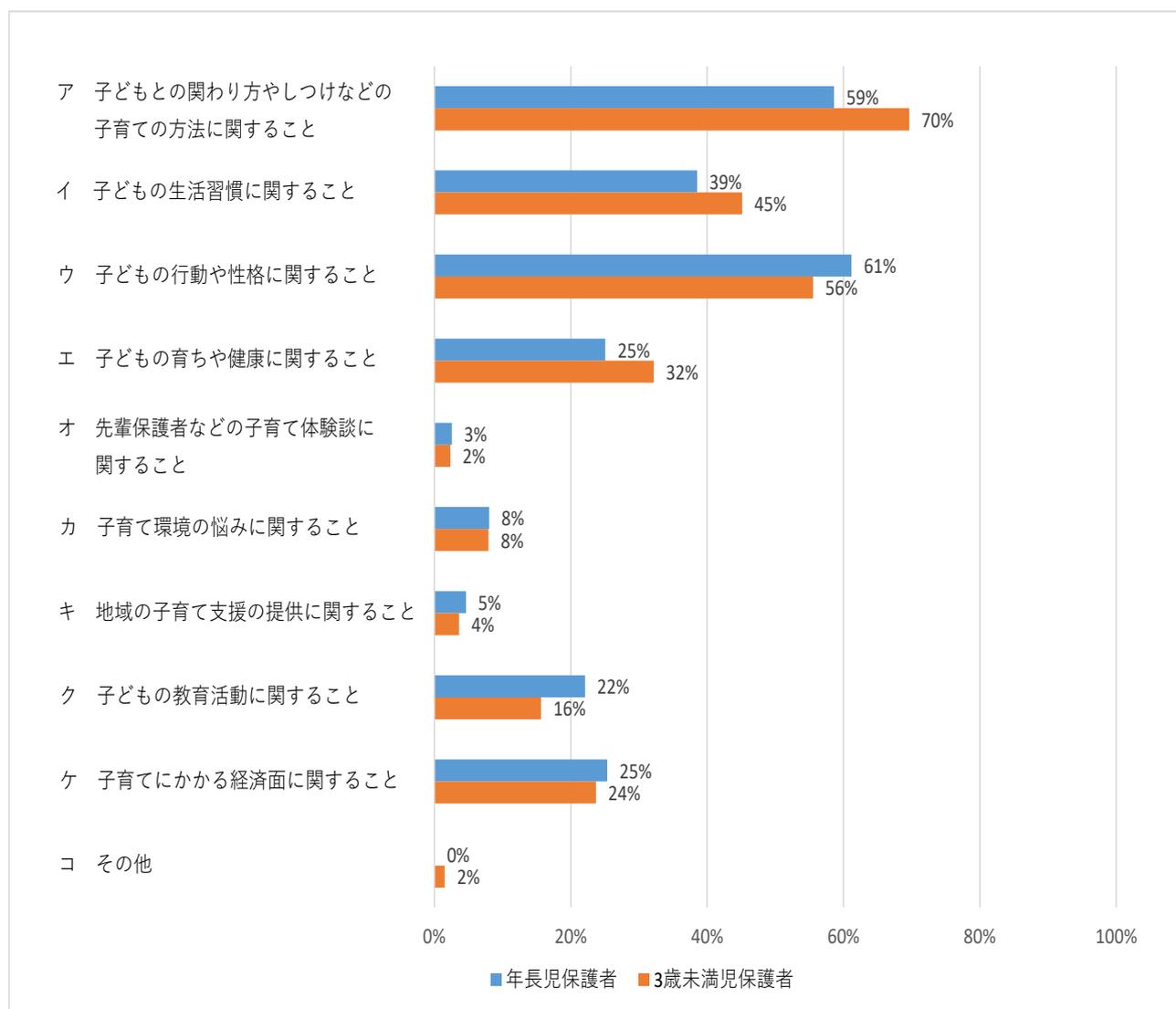
【悩みや気になることの相談方法】

〈調査結果〉

子育てや家庭教育に関する悩みや気になることの相談方法について、特にあてはまることの上位3項目は、年長児保護者、3歳未満児保護者ともに、「ア 配偶者・パートナー」「エ 子育ての仲間や子育ての経験のある友人・知人」「イ あなたや配偶者・パートナーの親」と回答している。

③子育てや家庭環境に関する悩みや気になることの相談内容

回答者(人数)	年長児保護者(1,409名)・3歳未満児保護者(1,462名)
質問内容	子育てや家庭教育に関する悩みや気になることは主にどのようなことですか。「ア」から「コ」の項目の中から、特にあてはまるものを3つまで選び、○をつけてください。



【悩みや気になることの相談内容】

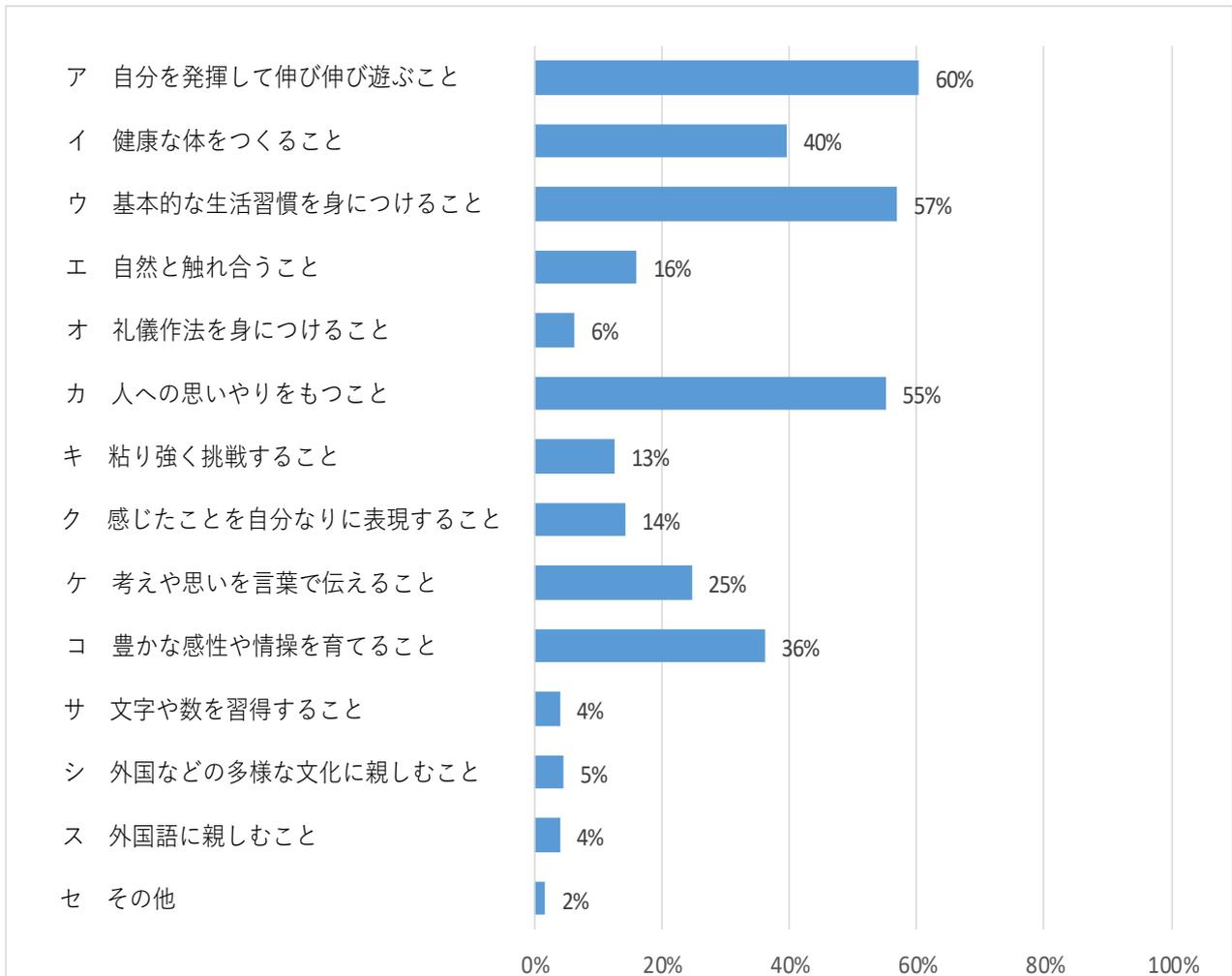
<調査結果>

子育てや家庭教育に関する悩みや気になることの相談内容について、特にあてはまることの上位3項目は、年長児保護者・3歳未満児保護者ともに「ア 子どもとの関わり方やしつけなどの子育てに関すること」「ウ 子どもの行動や性格に関すること」「イ 子どもの生活習慣に関する」ことである。

### 3. 園・所における教育・保育

#### ①-1 特に重視して取り組んでいること

回答者(人数)	園長・所長 ( 174 名)
質問内容	貴園・所で、乳幼児に対して、重視して取り組んでいることは何ですか。次の「ア」から「セ」の中から、特にあてはまるものを3つまで選び、○をつけてください。



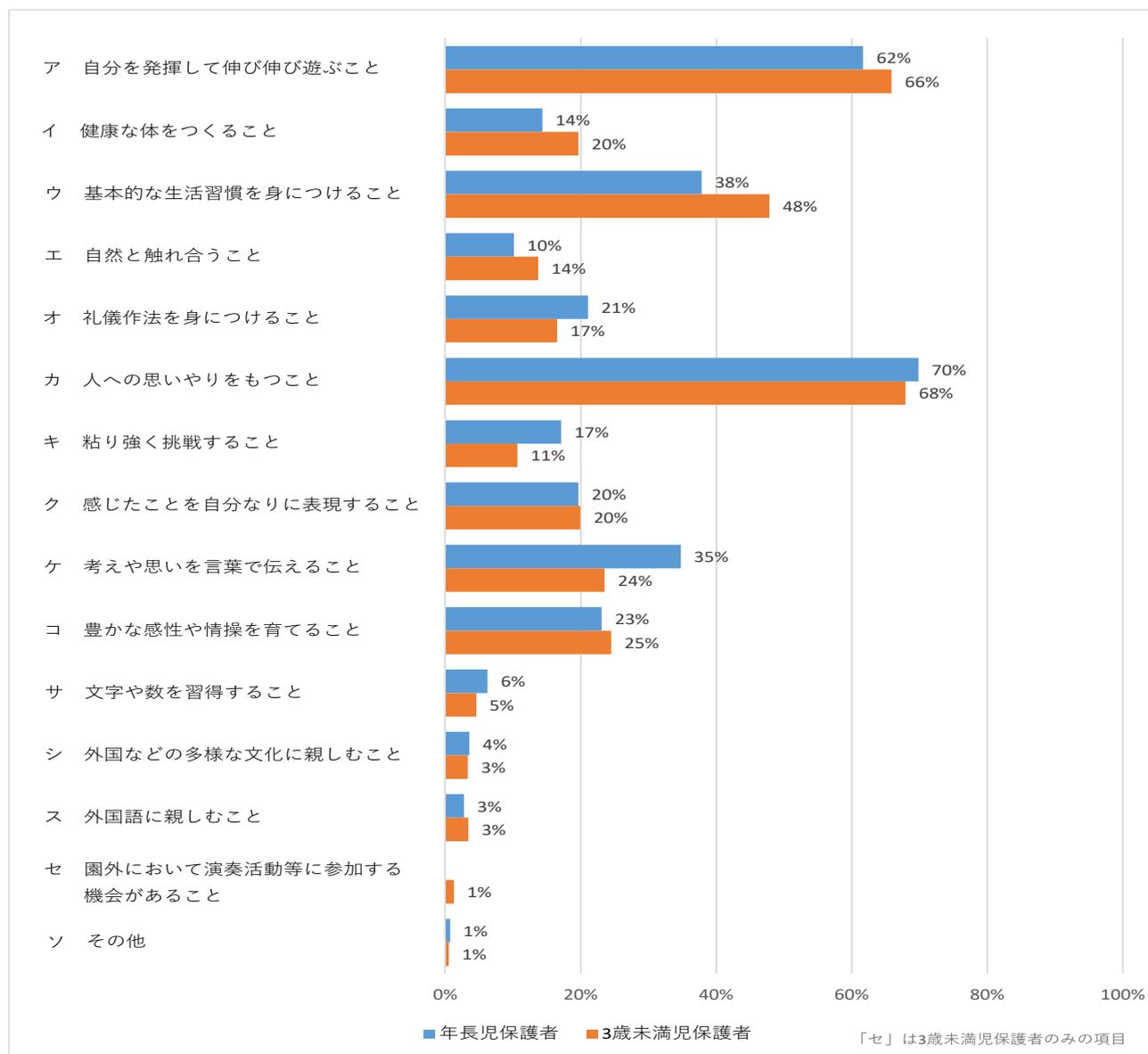
【特に重視して取り組んでいること】

#### <調査結果>

園・所が乳幼児に対して特に重視して取り組んでいることについて、園長・所長が回答した上位3項目は、「ア 自分を発揮して伸び伸びと遊ぶこと」「ウ 基本的な生活習慣を身につけること」「カ 人への思いやりをもつこと」である。

①-2園・所での保育で特に望んでいること

回答者(人数)	年長児保護者(1,409名)・3歳未満児保護者(1,462名)
質問内容	幼稚園・保育所・こども園での保育について、特に望んでいる内容を下記の中から3つまで選び、○をつけてください。



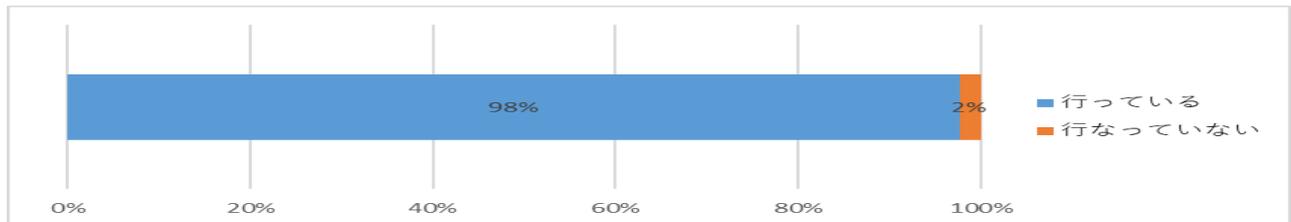
【園・所での保育で特に望んでいること】

<調査結果>

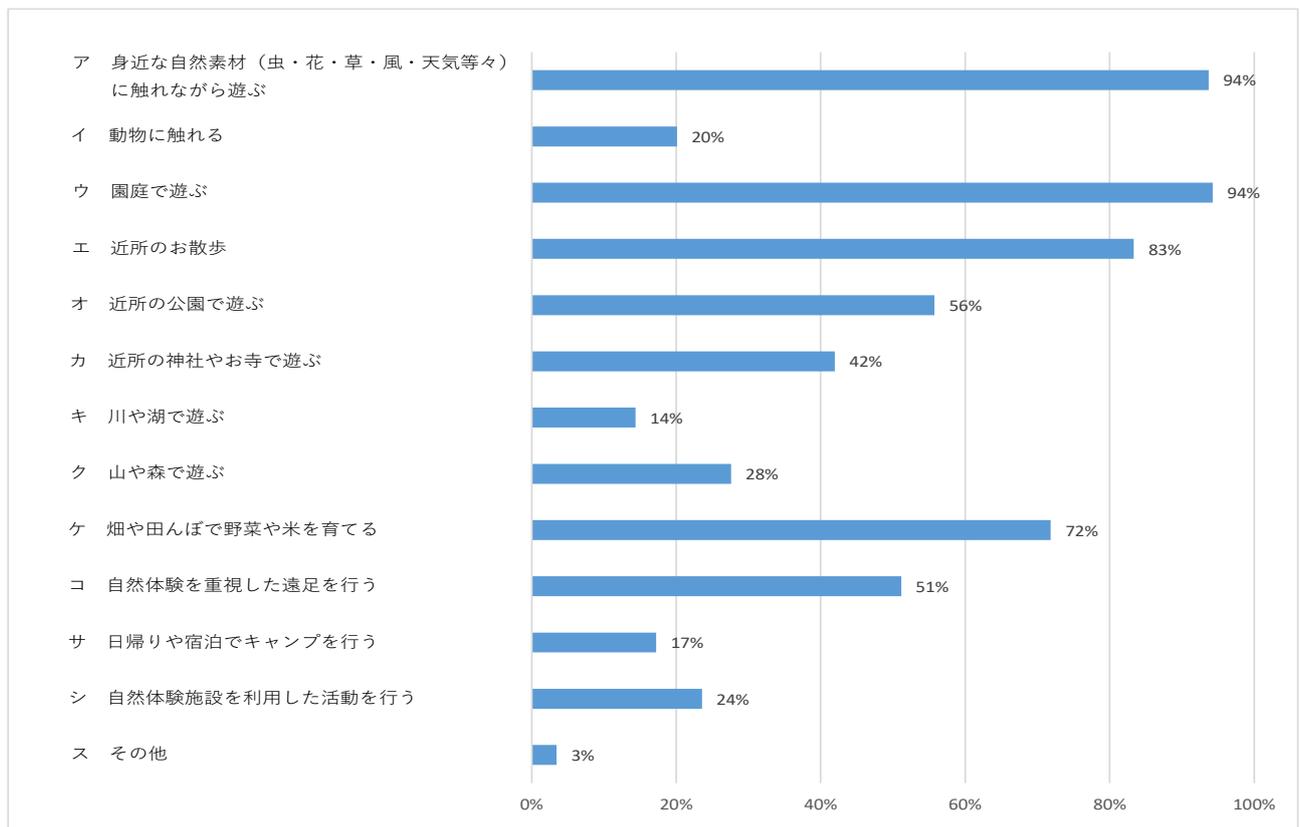
園・所での保育について特に望んでいる内容の上位3項目は、「カ 人への思いやりをもつこと」「ア 自分を発揮して伸び伸び遊ぶこと」「ウ 基本的な生活習慣を身につけること」であり、年長児保護者と3歳未満児保護者は、共通している。

②「自然体験活動」の取組

回答者（人数）	園長・所長（ 174名）
質問内容	貴園・所では、身近な自然で遊ぶ「自然体験活動」を保育計画に入れ、取り組んでいますか。まず、取組の有無について「行っている」「行っていない」のどちらかを選び○をつけ、「行っている」場合は、「ア」から「ス」の項目についてあてはまるものを全て選び、○をつけてください。



【自然体験活動の有無】



【行っている自然体験活動】

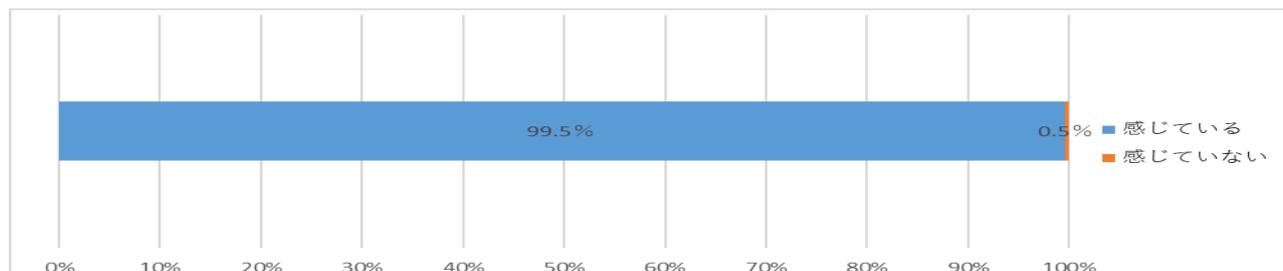
<調査結果>

自然体験活動の取組においては、98%の園・所で「自然体験活動」を保育計画に入れ、活動を行っている」と回答している。活動の内容の上位3項目については、「ア 身近な自然素材に触れながら遊ぶ」「ウ 園庭で遊ぶ」「エ 近所のお散歩」である。

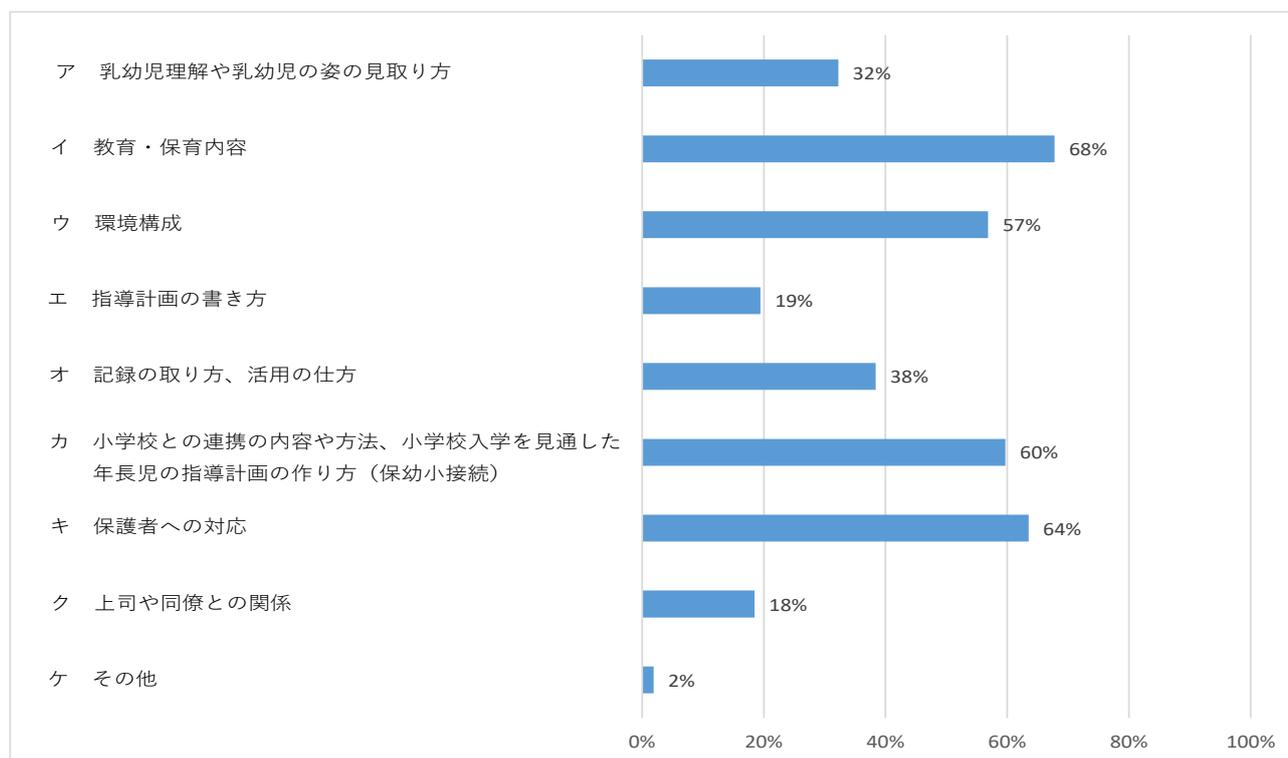
## 4. 保育者の資質向上

### ①実践での課題の有無

回答者（人数）	年長児担任（211名）
質問内容	あなたは、日々の教育・保育の実践において、課題を感じていますか。まず、課題の有無を「感じている」「感じていない」から選び、「感じている」場合は、「ア」から「ケ」の項目についてあてはまるものを全て選び、○をつけてください。



【実践での課題の有無】



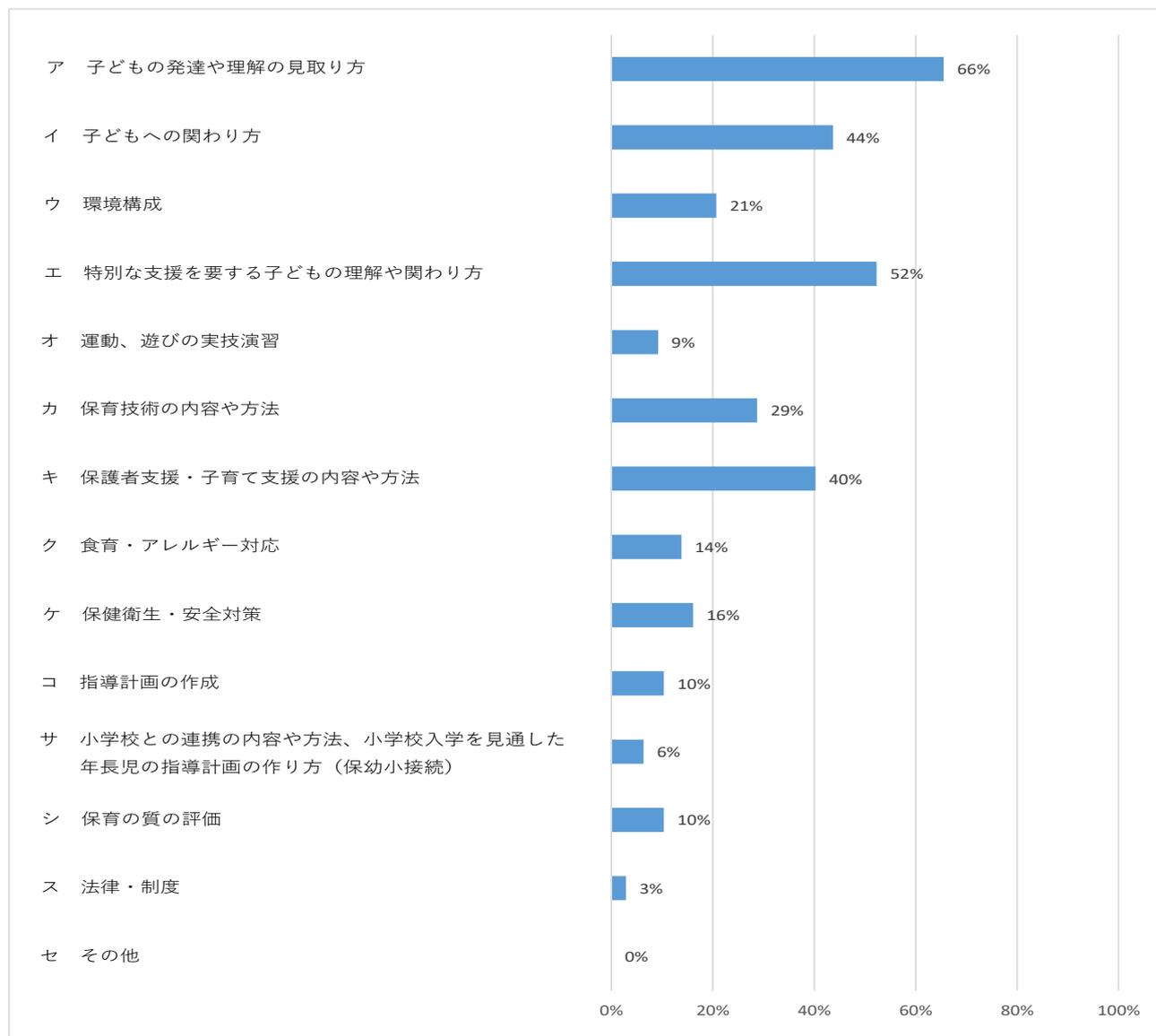
【実践での課題内容】

### <調査結果>

教育・保育の実践の課題について、99.5%の年長児担任が「感じている」と回答している。その課題の上位3項目は、「イ 教育・保育内容」「キ 保護者への対応」「カ 小学校との連携の内容や方法、小学校入学を見通した年長児の指導計画の作り方（保幼小の連携）」である。

②-1 保育者に特に必要な研修内容

回答者（人数）	園長・所長（174名）
質問内容	教員・保育士等の資質向上のために、必要な研修内容は何ですか。「ア」から「セ」の項目の中から、特にあてはまるものを3つまで選び、○をつけてください。



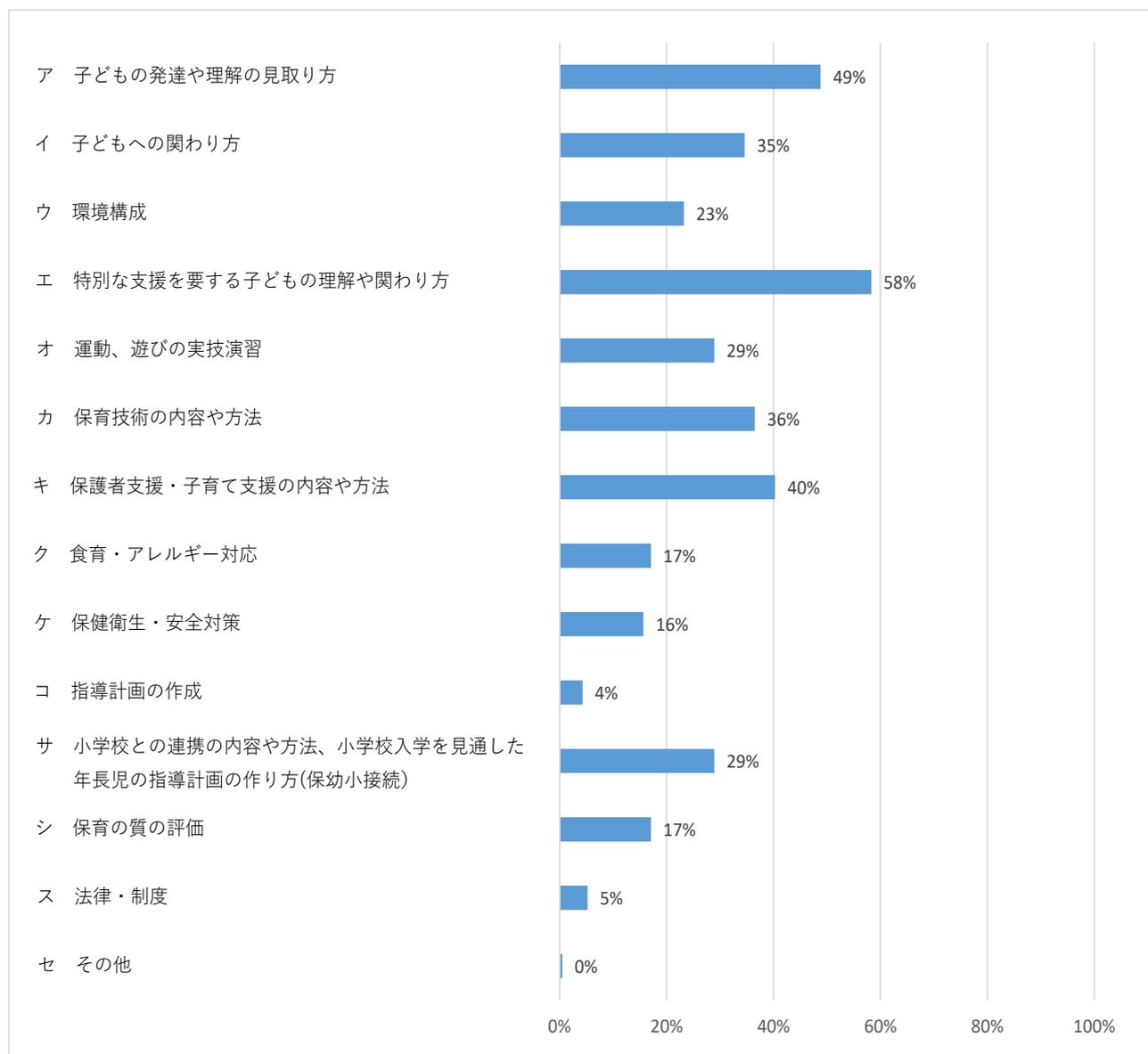
【資質向上のために必要な研修内容】

<調査結果>

教員・保育士等に特に必要な研修内容について、園長・所長が回答した上位3項目は、「ア 子どもの発達や理解の見取り方」「エ 特別な支援を要する子どもの理解や関わり方」「イ 子どもへの関わり方」である。

②-2 保育者に特に必要な研修内容

回答者（人数）	年長児担任（211名）
質問内容	教員・保育士等の資質向上のために、必要な研修内容は何ですか。「ア」から「セ」の項目の中から、特にあてはまるものを3つまで選び、○をつけてください。



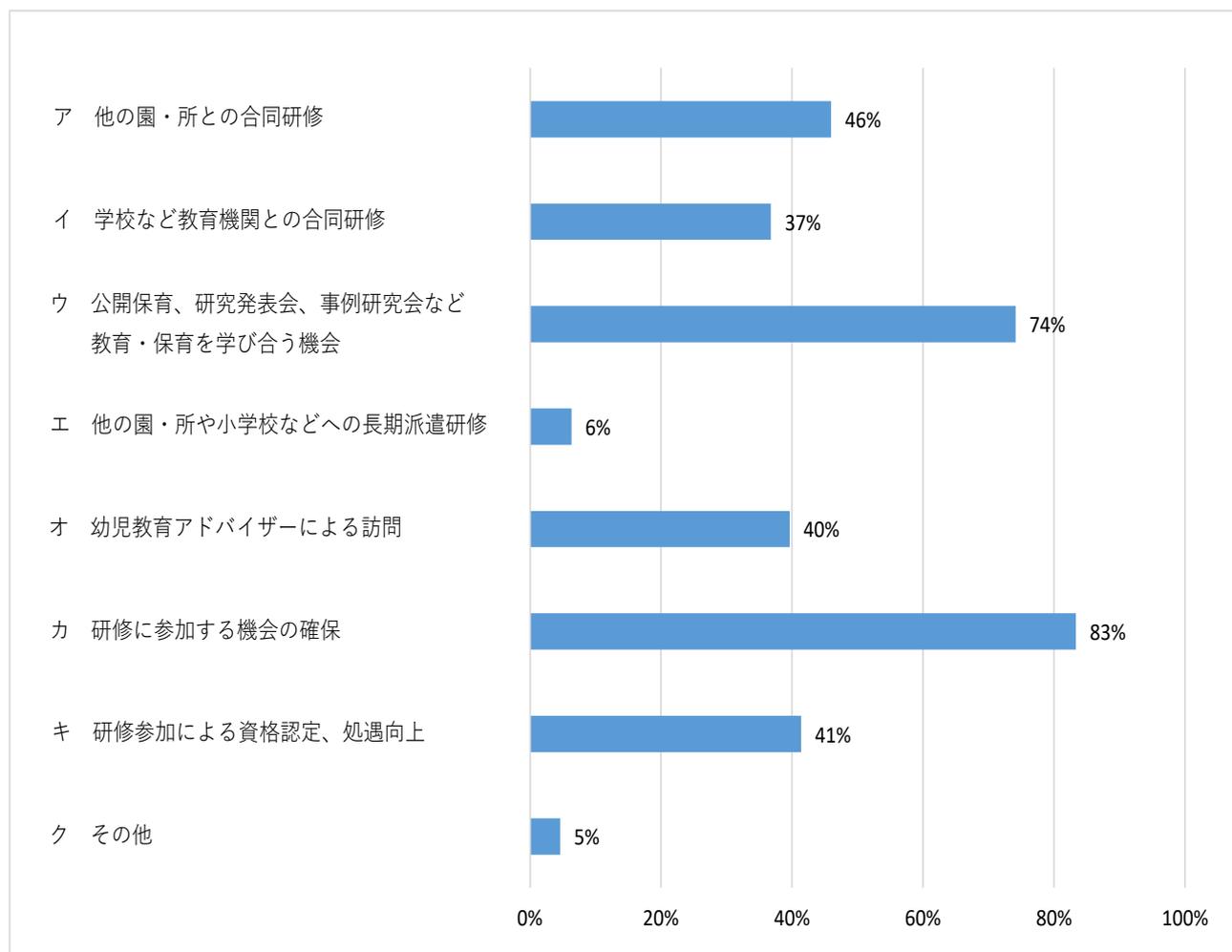
【資質向上のために必要な研修内容】

<調査結果>

教員・保育士に特に必要な研修内容について、年長児担任が回答した上位3項目は、「エ 特別な支援を要する子どもの理解や関わり方」「ア 子どもの発達や理解の見取り方」「キ 保護者支援・子育て支援の内容や方法」である。

### ③研修に関して必要な仕組み

回答者（人数）	園長・所長（174名）
質問内容	貴園・所の教員・保育士等の資質向上のために、必要だと思う研修などに関する仕組みはどのようなものですか。「ア」から「ク」の項目の中からあてはまるものを全て選び、○をつけてください。



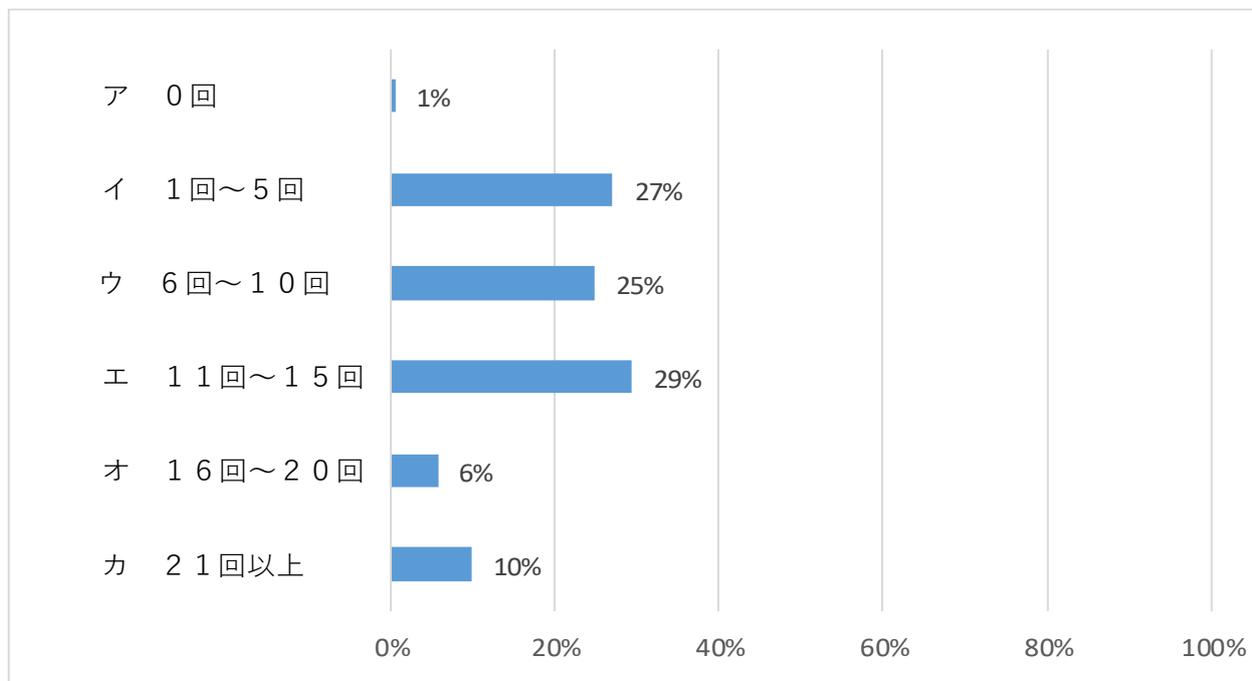
【資質向上のために必要だと思う研修に関する仕組み】

#### <調査結果>

教員・保育士等の資質向上のために必要だと思う研修などに関する仕組みについて、園長・所長が回答した割合が最も高い項目は、「カ 研修に参加する機会の確保」で、次いで「ウ 公開保育、研究発表会、事例研究会など教育保育を学び合う機会」である。

④園内研修の回数

回答者（人数）	園長・所長（174名）
質問内容	令和元年度に行った園内研修の回数を「ア」から「カ」の中から選び、○をつけてください。



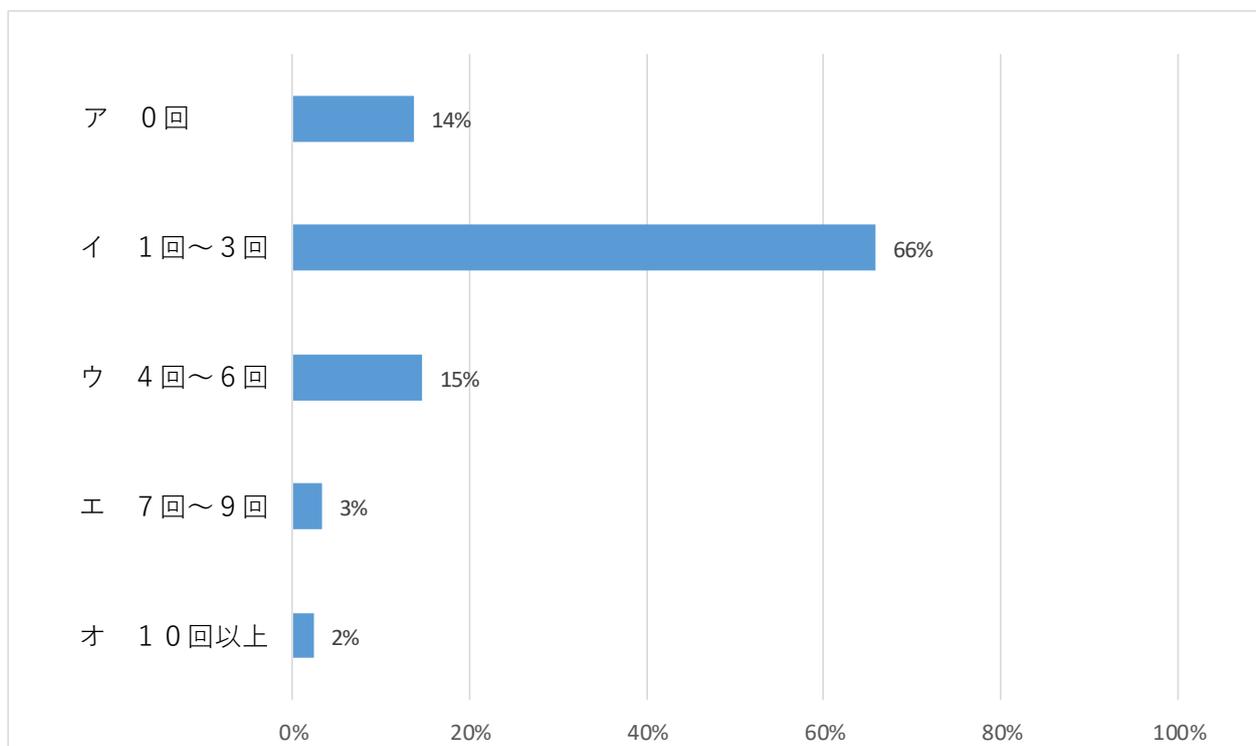
【令和元年度に行った園内研修の回数】

<調査結果>

令和元年度に行った園内研修の回数について、園長・所長が回答した割合が最も高い回数は、「エ 11回～15回」であるが、「イ 6回～10回」「ウ 1回～5回」の割合もほぼ同等の回答である。

⑤受講した園外研修

回答者（人数）	年長児担任（211名）
質問内容	令和元年度に受講した園外研修の回数を「ア」から「オ」の中から選び、○をつけてください。



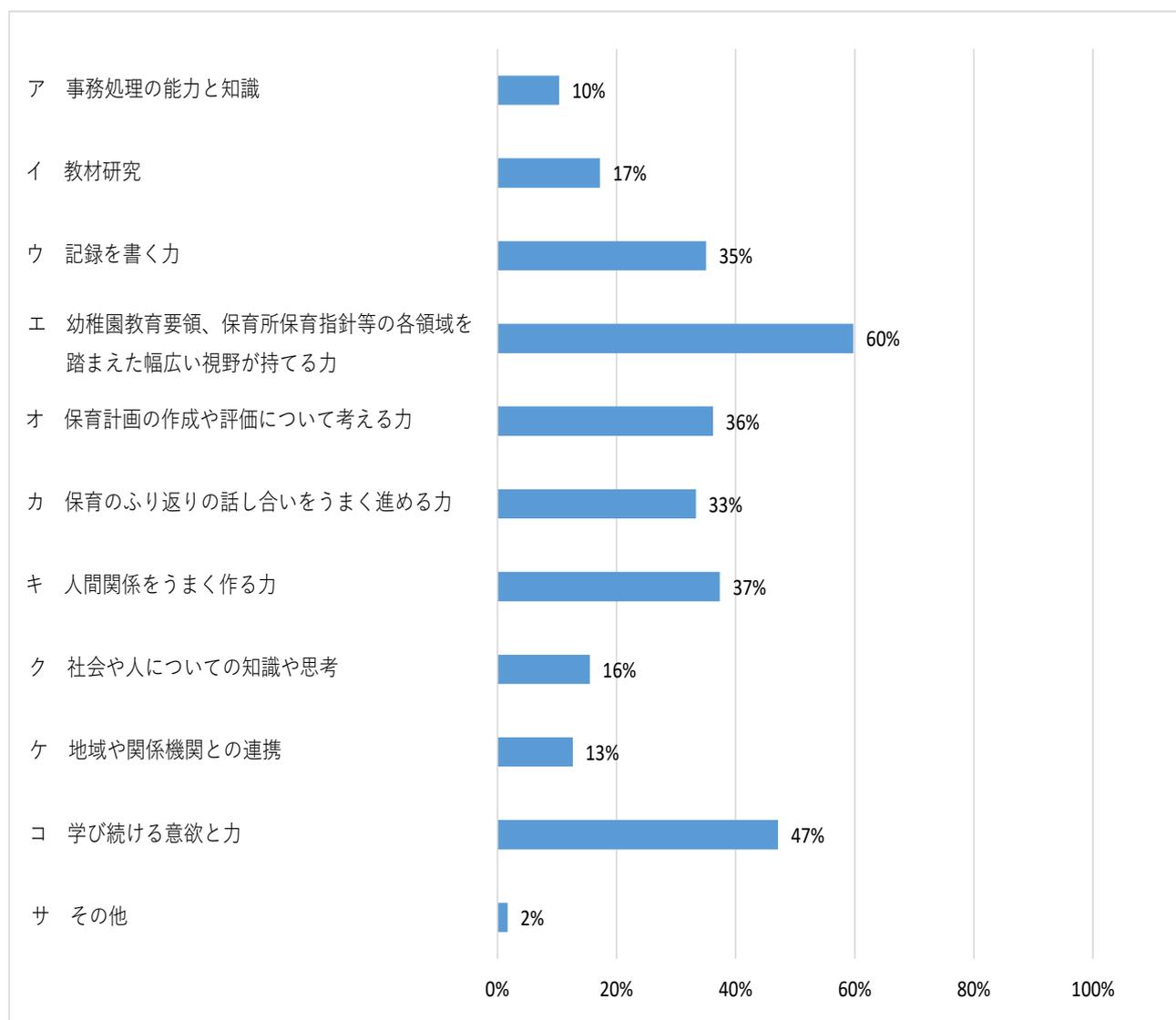
【令和元年に受講した園外研修の回数】

<調査結果>

令和元年度に受講した園外研修の回数について、年長児担任が回答した割合が最も高い回数は、「イ 1回～3回」である。

⑥- 1 身につけさせたい資質・能力

回答者（人数）	園長・所長（174名）
質問内容	貴園・所の職員に身につけさせたいと思う資質・能力はどのようなものですか。「ア」から「サ」の項目の中から3つまで選び、○をつけてください。



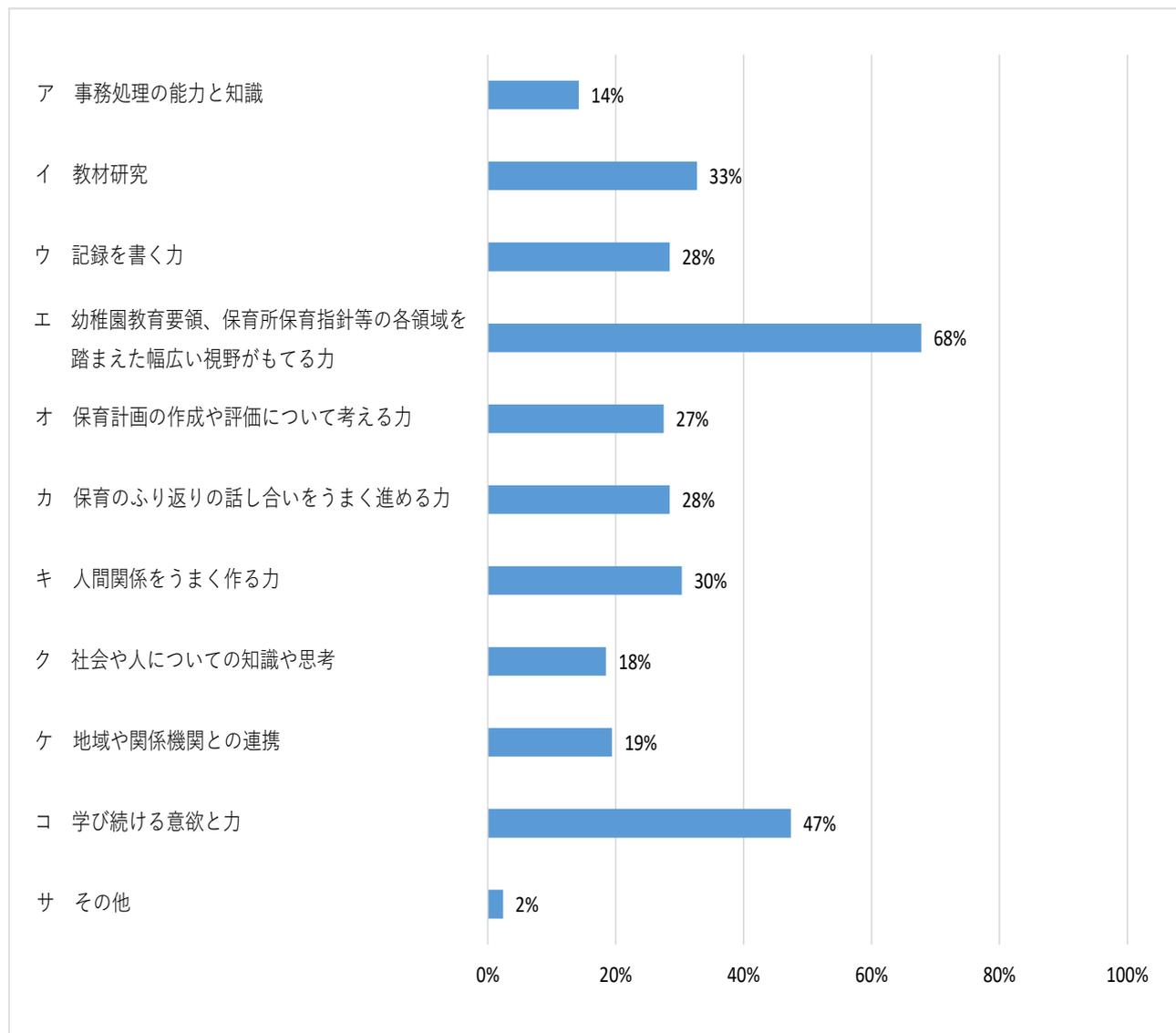
【職員に身につけさせたいと思う資質・能力】

<調査結果>

職員に身につけさせたいと思う資質・能力について、園長・所長が回答した上位3項目は、「エ 幼稚園教育要領、保育所保指針等の各領域を踏まえた幅広い視野が持てる力」「コ 学び続ける意欲と力」「キ 人間関係をうまく作る力」である。

⑥－2 身につけたい資質・能力

回答者（人数）	年長児担任（211名）
質問内容	今後、保育者として身につけたいと思う資質・能力はどのようなものですか。「ア」から「サ」の項目の中から3つまで選び、○をつけてください。



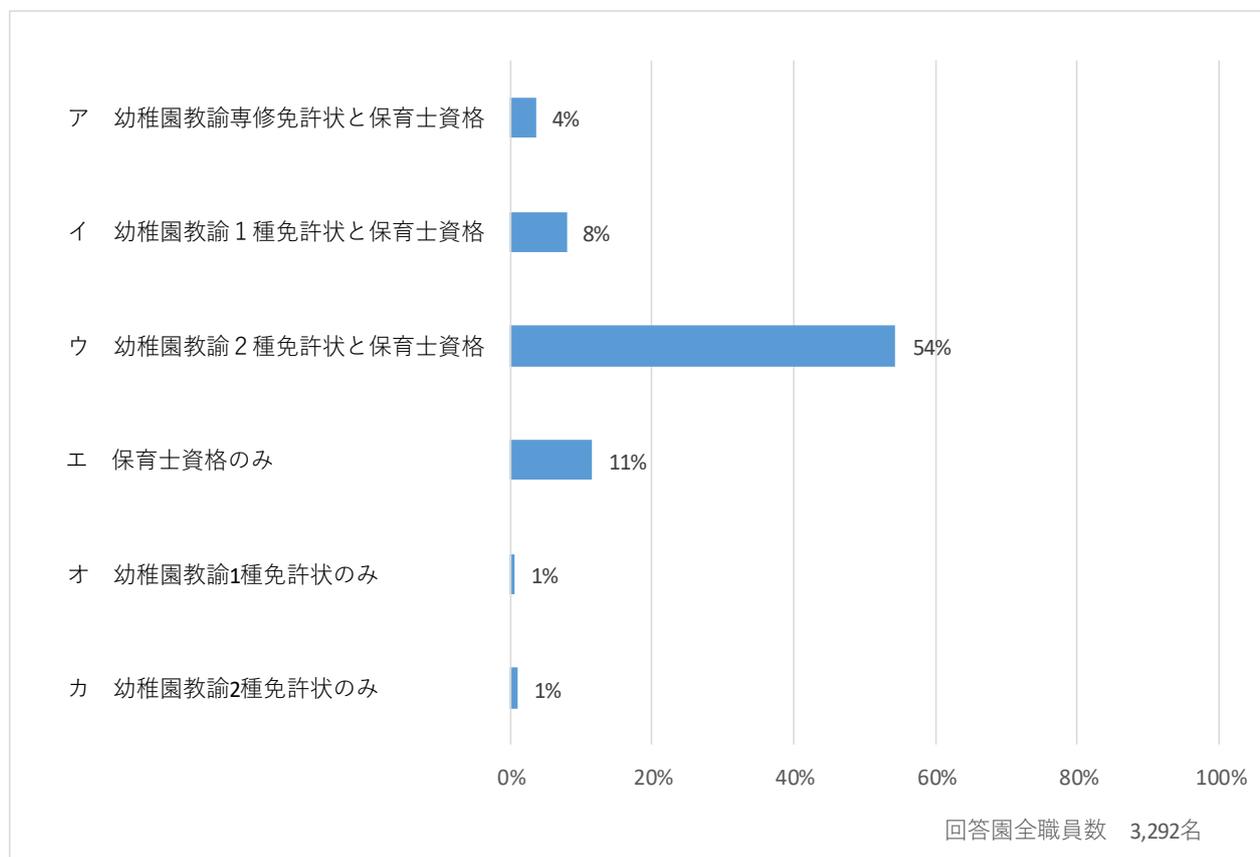
【身につけたい資質・能力】

<調査結果>

保育者として身につけたいと思う資質・能力について、年長児担任が回答した上位3項目は、「エ 幼稚園教育要領、保育所保育指針等の各領域を踏まえた幅広い視野がもてる力」「コ 学び続ける意欲と力」「イ 教材研究」である。

⑦-1 免許・資格の保有状況

回答者（人数）	園長・所長（174名）
質問内容	貴園・所の職員において、該当する免許・資格を所有する者の人数をご回答ください。



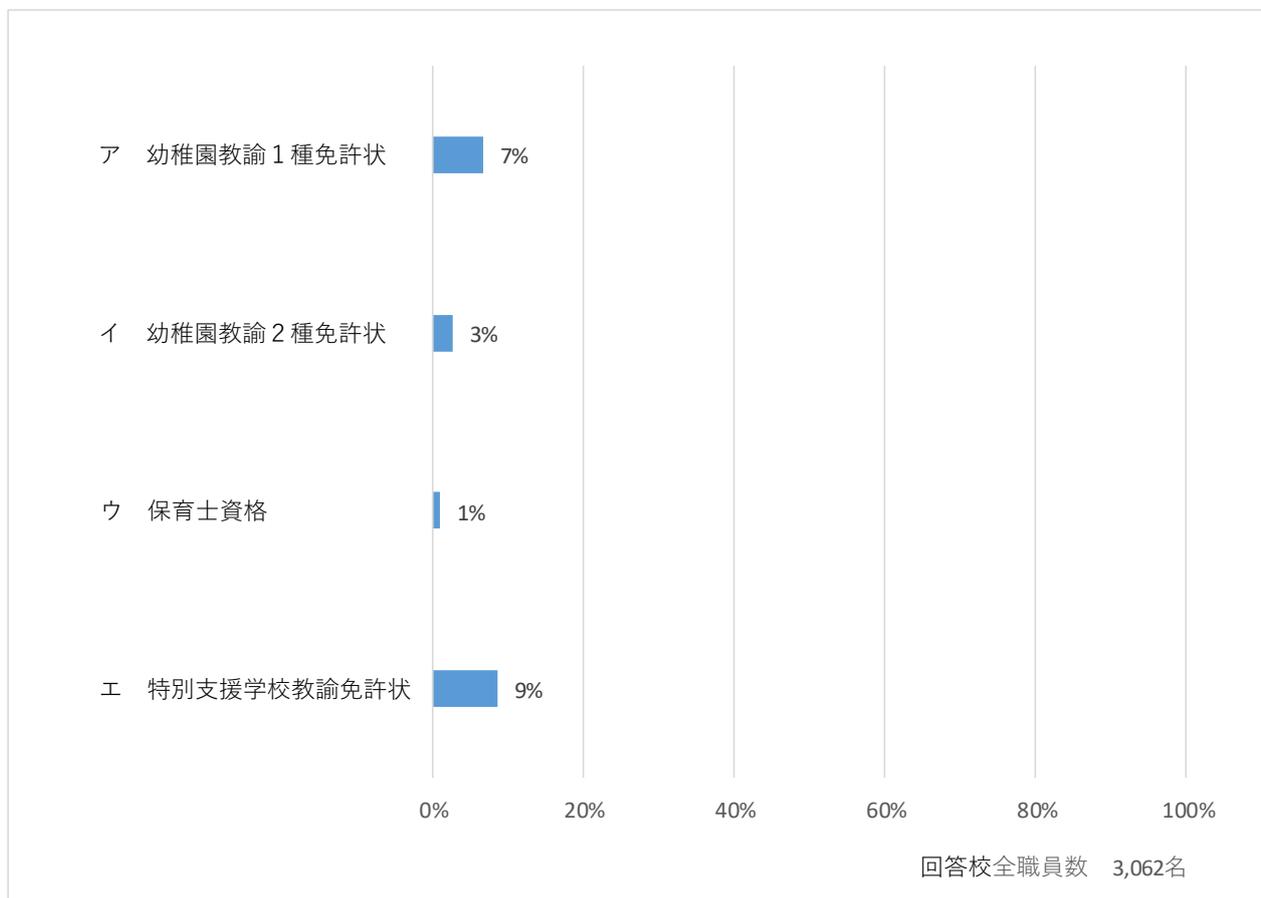
【免許・資格を所有する者の人数】

<調査結果>

職員において免許・資格を所有する人数について、園長・所長の回答した割合が最も高い項目は、「ウ 幼稚園教諭2種免許状と保育士資格」である。

⑦-2 免許・資格の保有状況

回答者（人数）	校長（138名）
質問内容	貴校の教職員のうち、小学校教諭免許状以外に、以下に該当する免許・資格を所有する者の人数をご回答ください。



【免許・資格の保有状況】

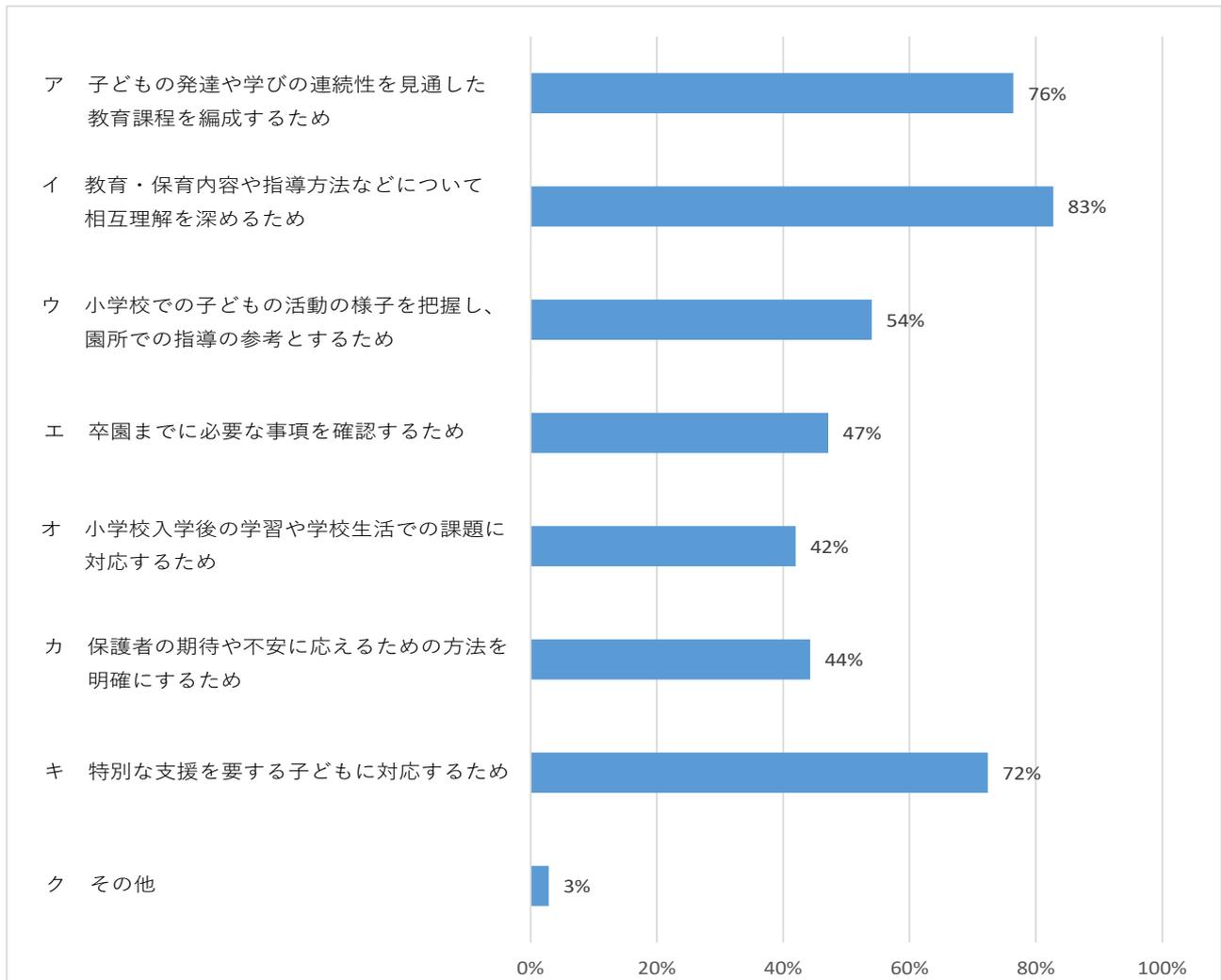
<調査結果>

教職員のうち小学校教諭免許状以外に、免許・資格を所有する人数について、校長が回答した割合が最も高い免許状は「エ 特別支援学校教諭免許状」で9%、続いて「ア 幼稚園教諭1種免許状」が7%である。

## 5. 保幼小連携

### ①-1 保幼小連携・接続の意義

回答者（人数）	園長・所長（174名）
質問内容	貴園・所では、保幼小連携・接続について、どのような意義があると思いますか。「ア」から「ク」の項目の中からあてはまるものを全て選び、○をつけてください。



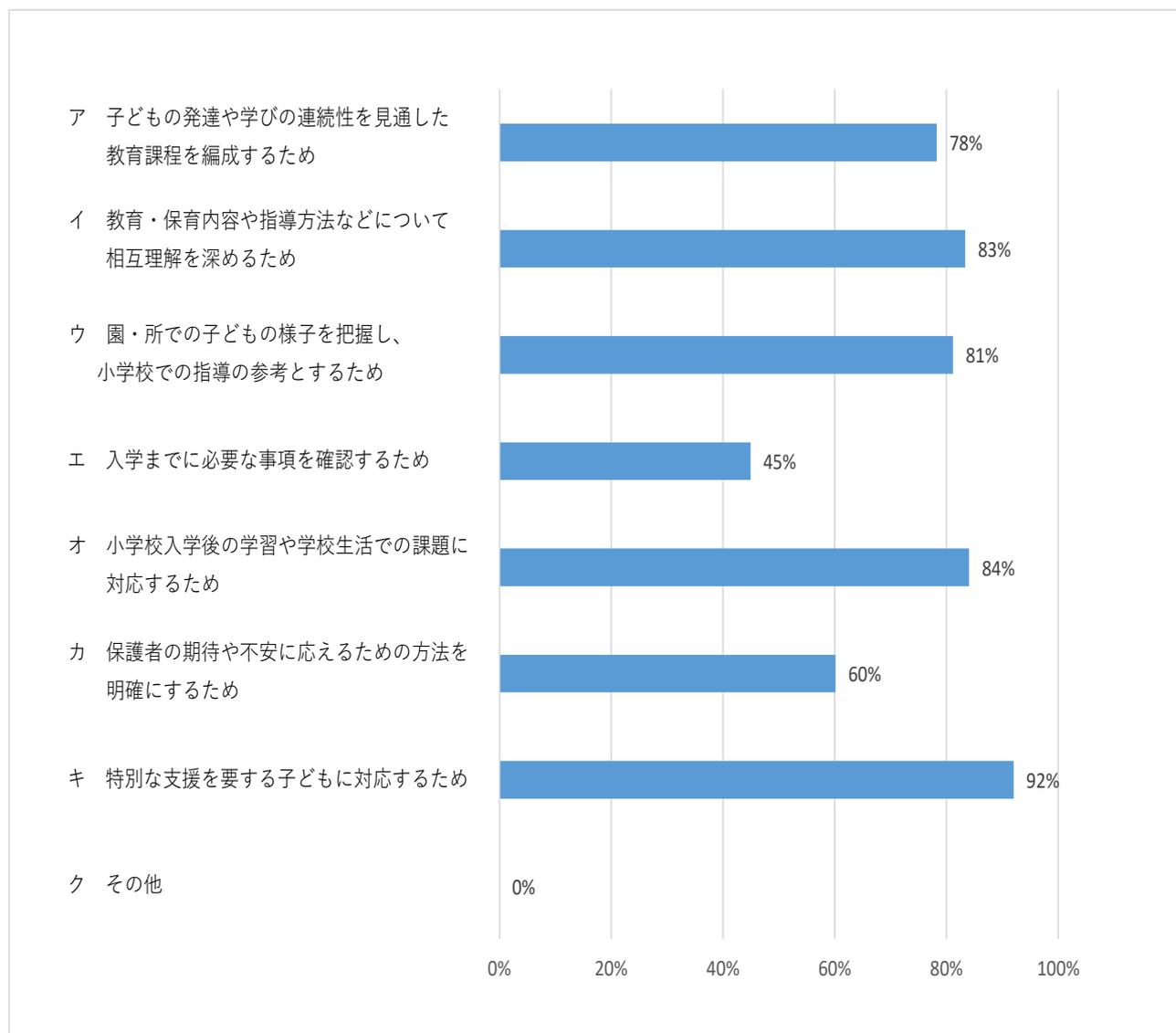
【保幼小連携・接続の意義＜園長・所長＞】

#### <調査結果>

保幼小連携・接続の意義について、園長・所長が回答した上位3項目は、「イ 教育・保育内容や指導方法などについて相互理解を深めるため」「ア 子どもの発達や学びの連続性を見通した教育課程を編成するため」「キ 特別な支援を要する子どもに対応するため」である。

①－2 保幼小連携・接続の意義

回答者（人数）	校長（138名）
質問内容	貴校では、保幼小連携・接続について、どのような意義があると思いますか。「ア」から「ク」の項目の中からあてはまるものを全て選び、○をつけてください。



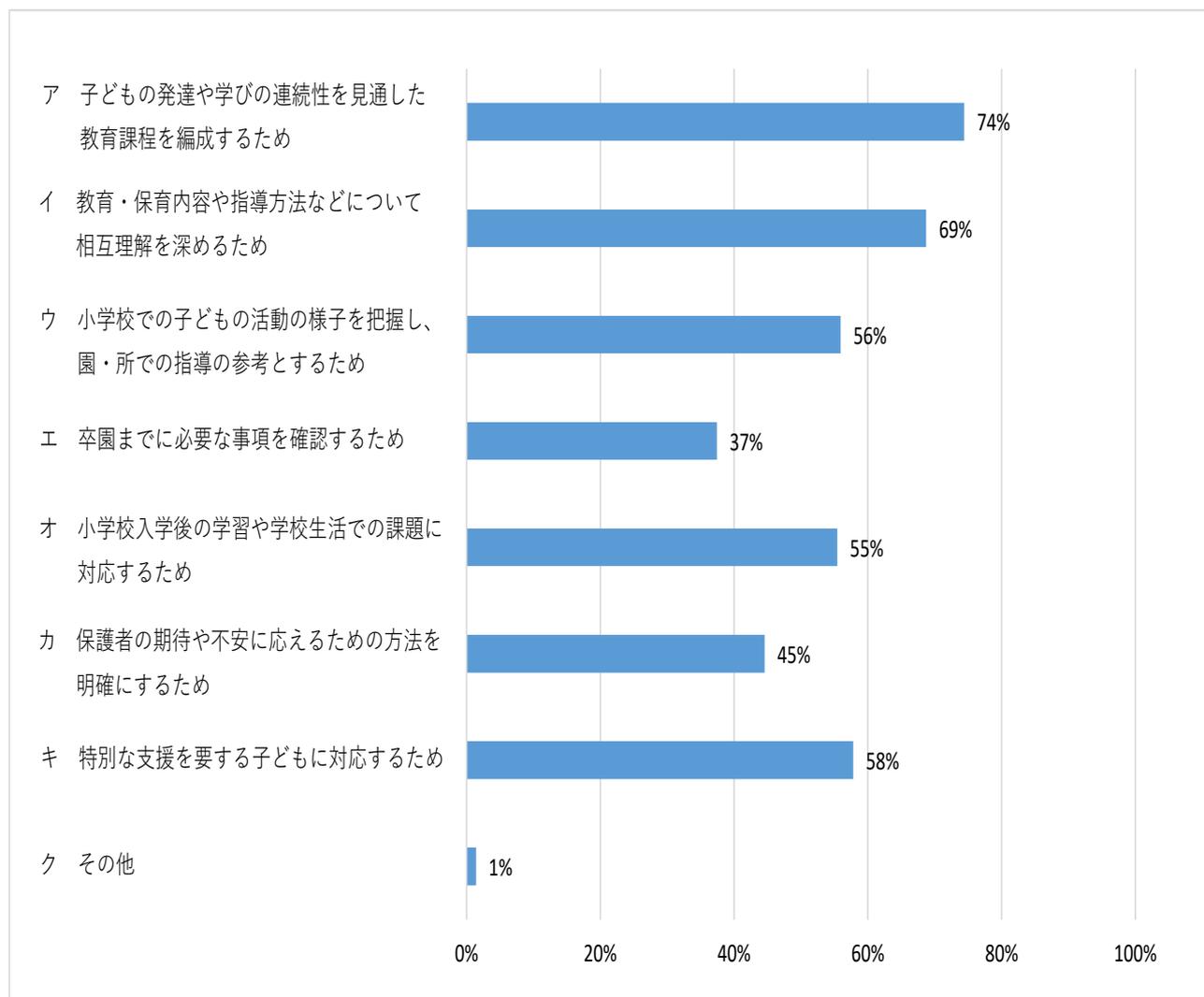
【保幼小連携・接続の意義＜校長＞】

<調査結果>

保幼小連携・接続の意義について、校長が回答した上位3項目は、「キ 特別な支援を要する子どもに対応するため」「オ 小学校入学後の学習や学校生活での課題に対応するため」「イ 教育・保育内容や指導方法などについて相互理解を深めるため」である。

①-3 保幼小連携・接続の意義

回答者（人数）	年長児担任（211名）
質問内容	あなたは、保幼小連携・接続について、どのような意義があると思いますか。「ア」から「ク」の項目の中からあてはまるものを全て選び、○をつけてください。



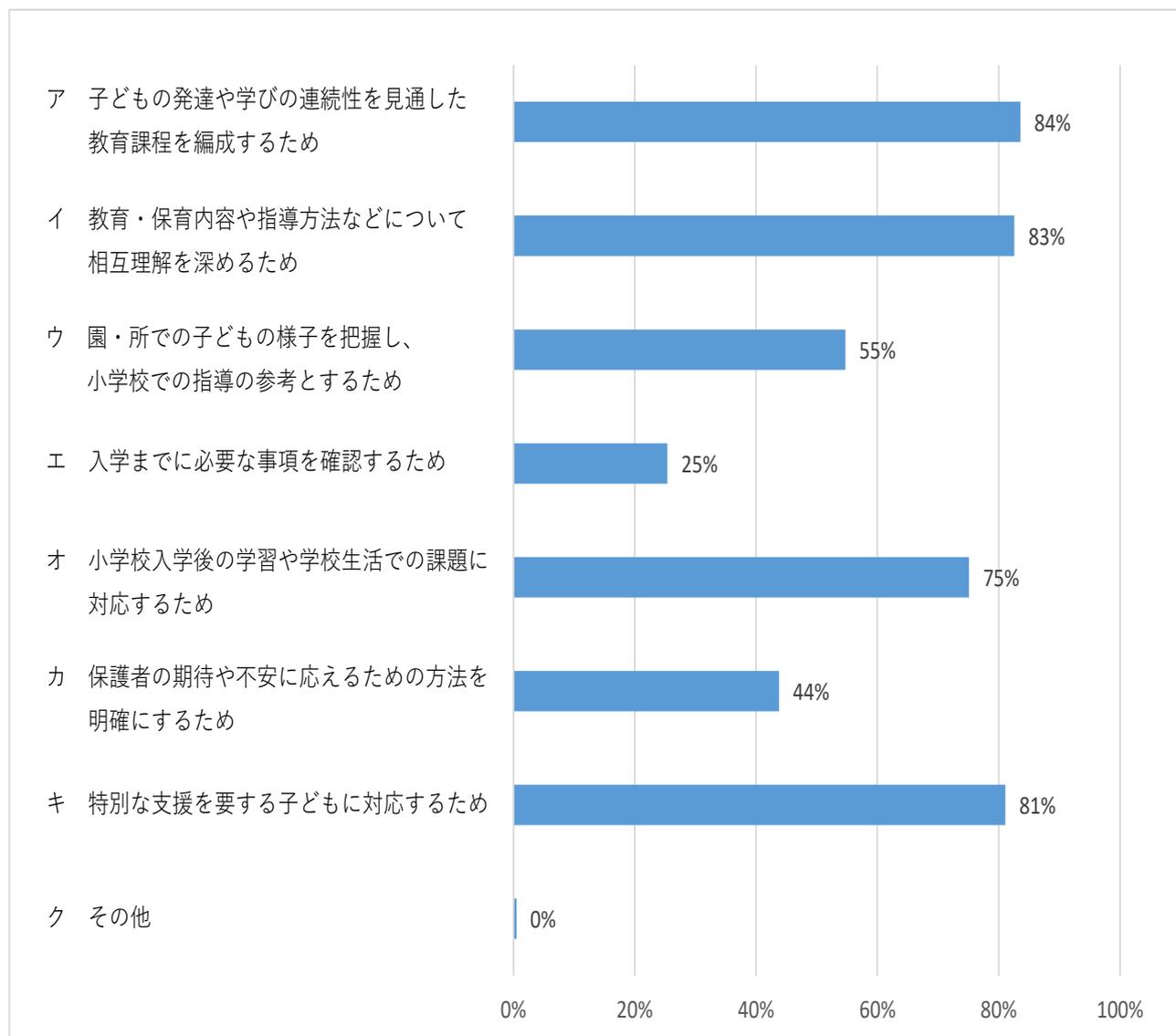
【保幼小連携・接続の意義<年長児担任>】

<調査結果>

保幼小連携・接続の意義について、年長児担任が回答した上位3項目は、「ア 子どもの発達や学びの連続性を見通した教育課程を編成するため」「イ 教育・保育内容や指導方法などについて相互理解を深めるため」「キ 特別な支援を要する子どもに対応するため」である。

①-4 保幼小連携・接続の意義

回答者（人数）	1年生担任（201名）
質問内容	あなたは、保幼小連携・接続について、どのような意義があると思いますか。「ア」から「ク」の項目の中からあてはまるものを全て選び、○をつけてください。



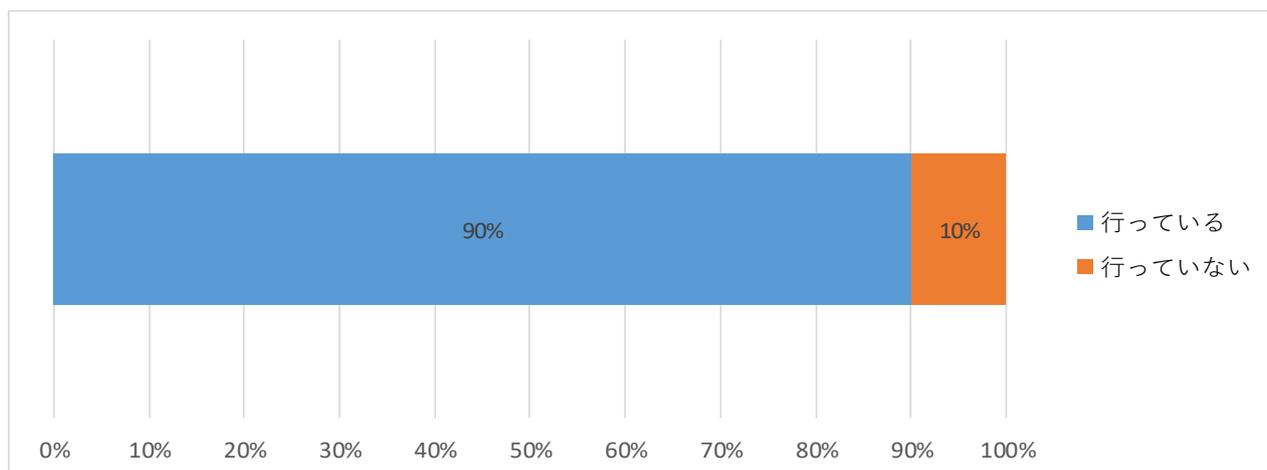
【保幼小連携・接続の意義<1年生担任>】

<調査結果>

保幼小連携・接続の意義について、1年生担任が回答した上位3項目は、「ア 子どもの発達や学びの連続性を見通した教育課程を編成するため」「イ 教育・保育内容や指導方法などについて相互理解を深めるため」「キ 特別な支援を要する子どもに対応するため」である。

②園・所の連携・接続の有無

回答者（人数）	園長・所長（174名）
質問内容	貴園・所では、小学校との連携・接続の取組を行っていますか。取組の有無についてどちらかを選び、○をつけてください。



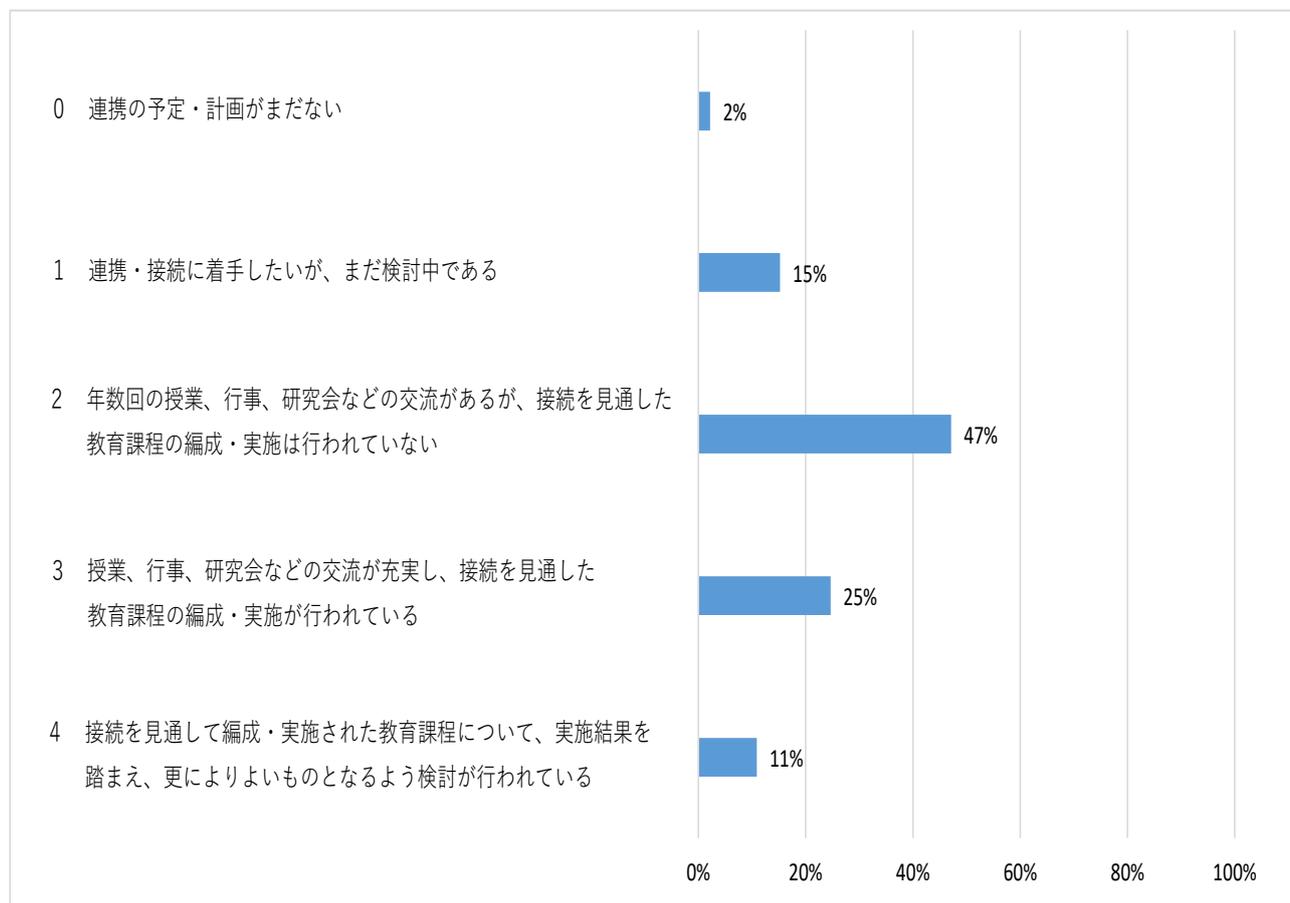
【小学校との連携・接続の取組の有無】

<調査結果>

園・所の連携・接続の取組状況について、90%の園長・所長が「行っている」と回答している。

### ③小学校の連携・接続の取組状況

回答者（人数）	校長（138名）
質問内容	貴校の保幼小連携・接続の取組はどのような状況ですか。取組の状況について、ステップ「0」からステップ「4」の項目の中から、あてはまるもの1つを選び、○をつけてください。



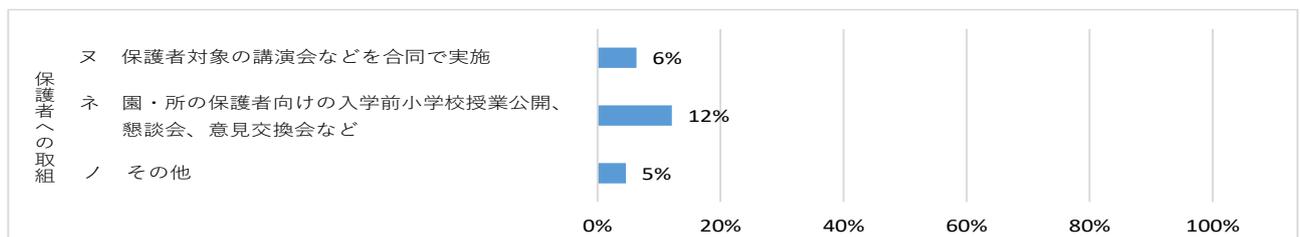
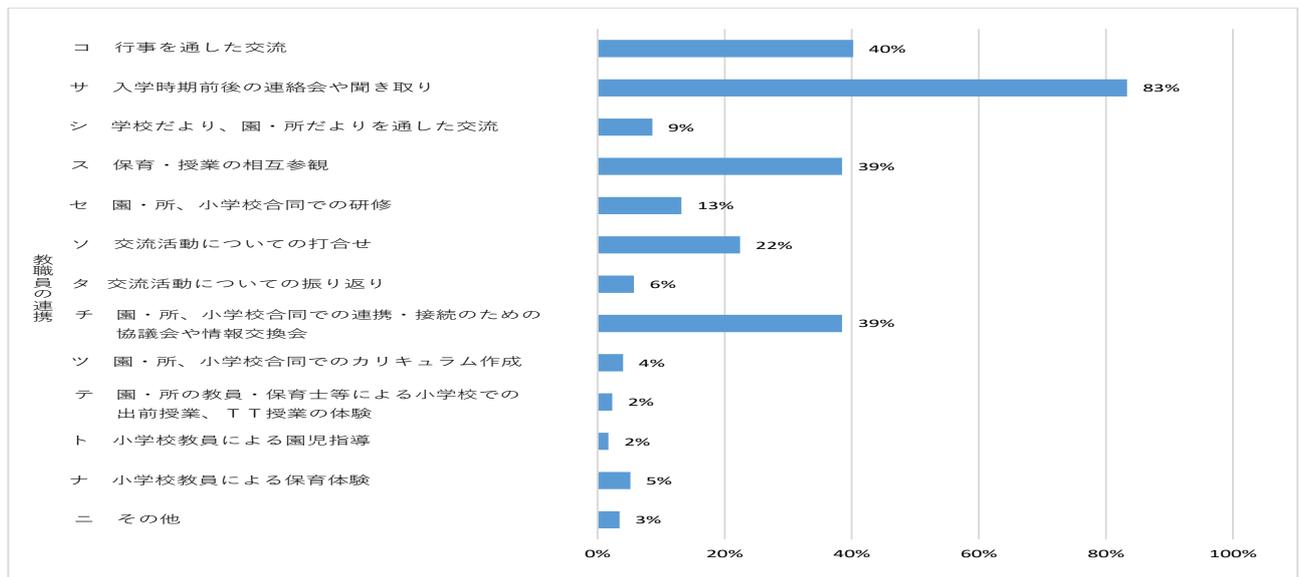
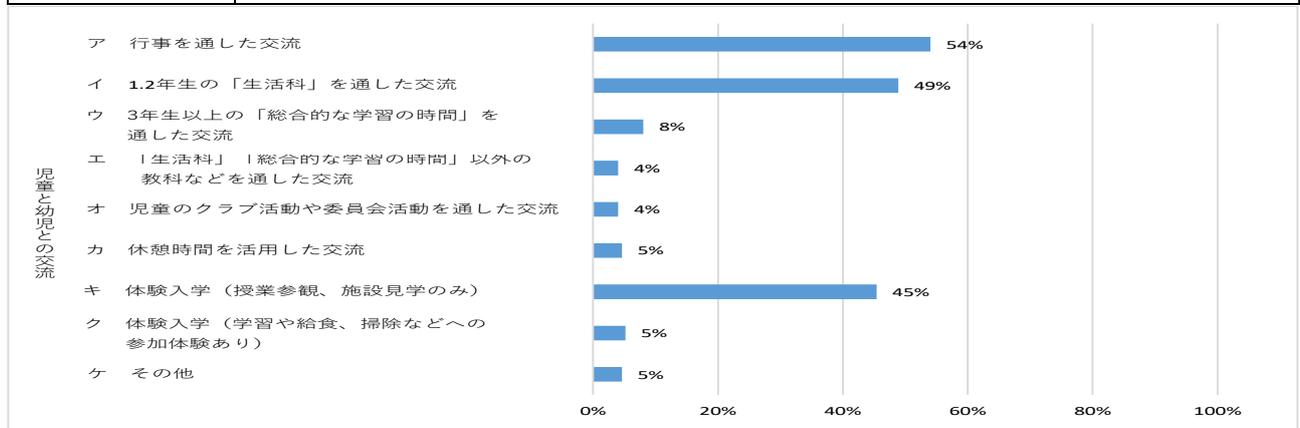
【保幼小連携・接続の取組状況<校長>】

#### <調査結果>

小学校の連携・接続の取組状況について、約半数の47%の校長が、「ステップ2」と回答している。

④園・所の連携・接続の取組内容

回答者（人数）	園長・所長（174名）
質問内容	貴園・所の小学校との連携・接続の取組内容について、「ア」から「ノ」の項目の中からあてはまるものを全て選び、○をつけてください。



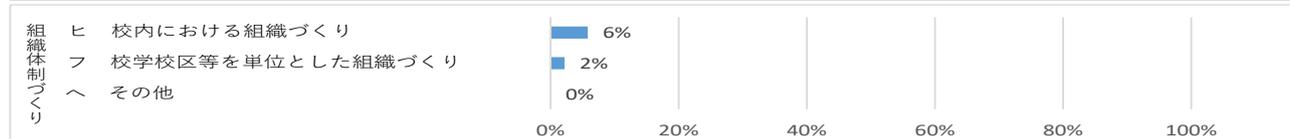
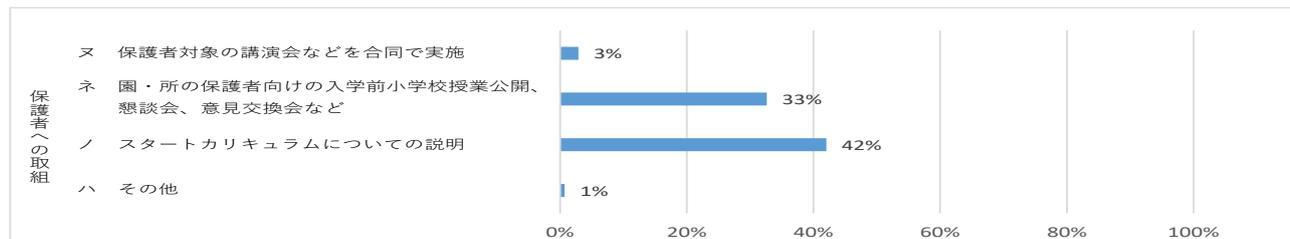
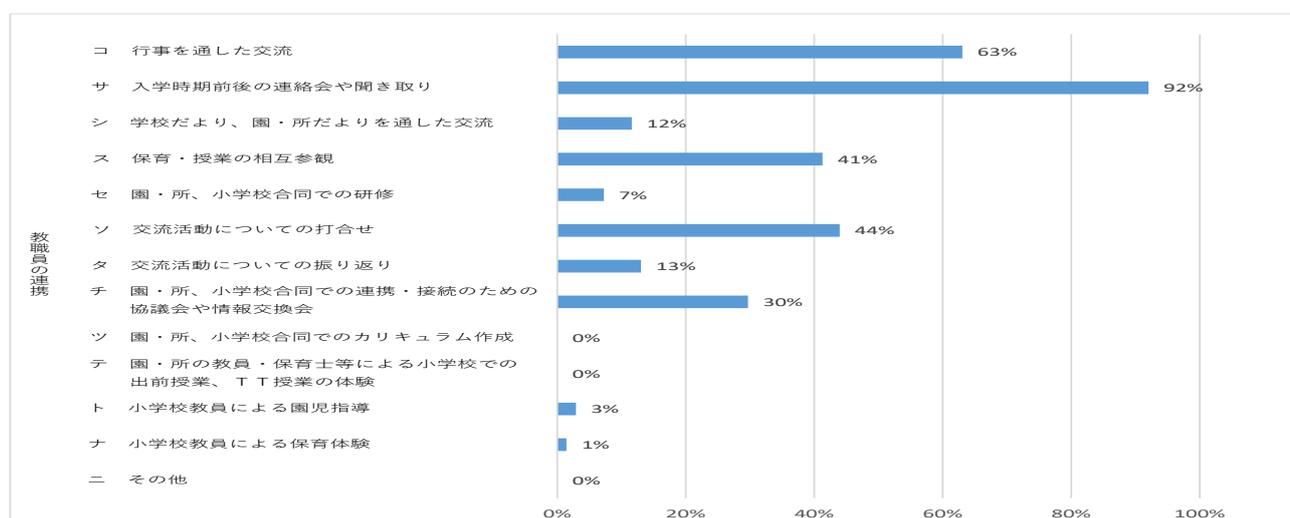
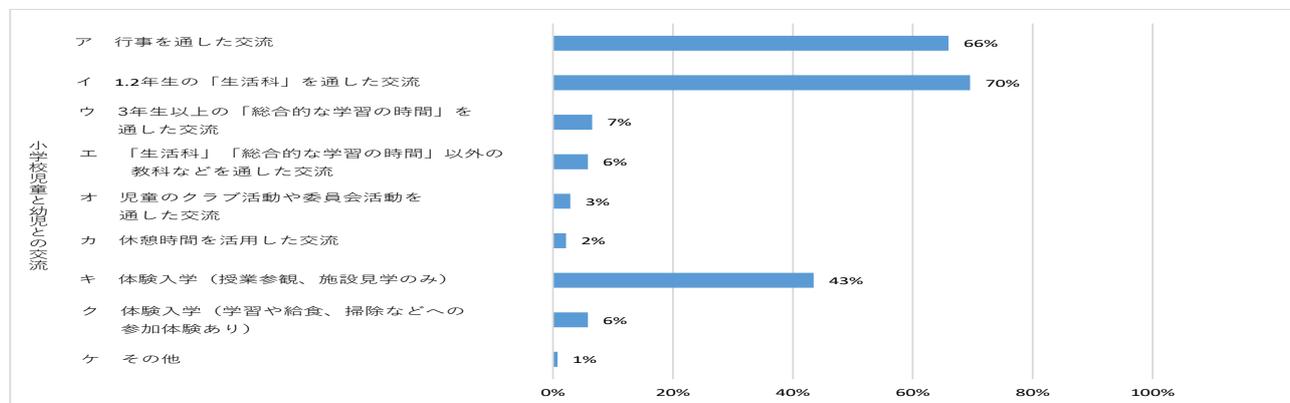
【園・所の連携・接続の取組内容】

<調査結果>

園・所の連携・接続の取組内容について、園長・所長が回答した割合が最も多い項目は、児童と幼児の交流では「ア 行事を通じた交流」、教職員の連携では「サ 入学時期前後の連絡会や聞き取り」、保護者への取組では、「ネ 園・所の保護者向けの入学前小学校授業公開、懇談会、意見交換会など」である。

⑤小学校の連携・接続の取組内容

回答者（人数）	校長（138名）
質問内容	貴校の保幼小連携・接続の取組内容について、「ア」から「へ」の項目の中からあてはまるものを全て選び、○をつけてください。



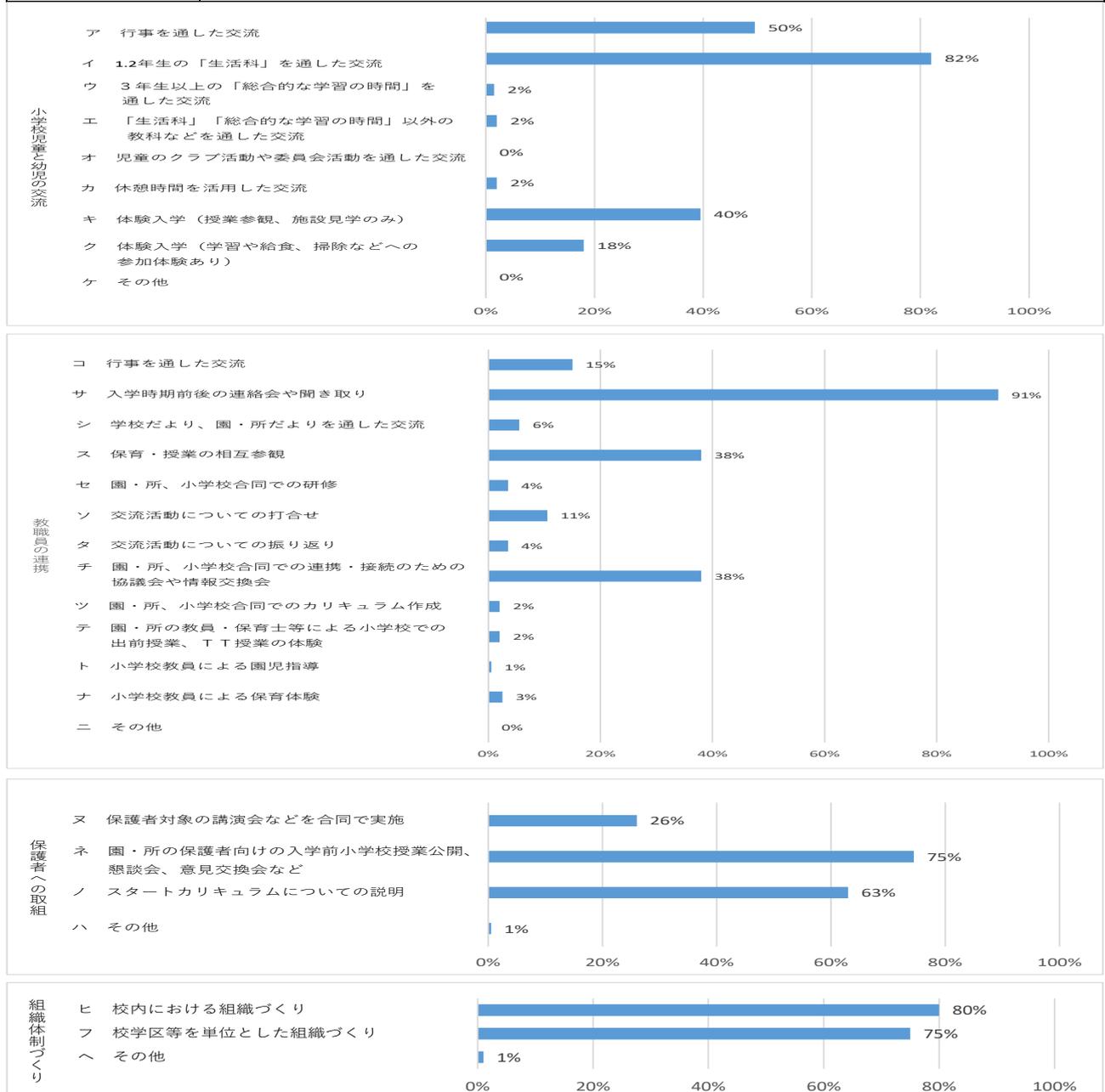
【小学校の連携・接続の取組内容】

<調査結果>

小学校の連携・接続の取組内容について、校長が回答した割合が最も高い項目は、児童と幼児の交流では、「イ 1,2年生の「生活科」を通じた交流」、教職員の連携では「サ 入学時期前後の連絡会や聞き取り」、保護者への取組では「ノ スタートカリキュラムについての説明」、組織体制づくりでは「ヒ 校内における組織づくり」である。

⑥保幼小連携・接続の取組内容で重要だと思うこと

回答者（人数）	1年生担任（201名）
質問内容	保幼小連携・接続の取組内容について、「小学校児童と幼児との交流」「教職員の連携」「保護者への取組」「組織体制づくり」の項目について、重要だと思うものを「ア」から「ヘ」の項目の中からそれぞれ2つまで選び、○をつけてください。



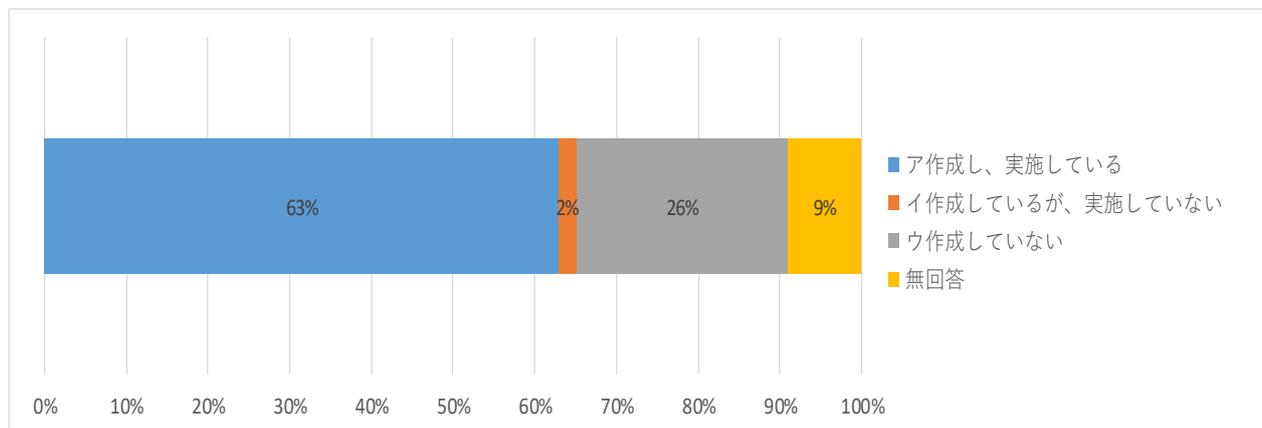
【保幼小連携・接続の取組内容について重要だと思うこと】

<調査結果>

保幼小の連携・接続の取組内容で重要だと思うものについて、1年生担任が回答した割合が最も高い項目は、児童と幼児の交流では「イ 1、2年生の「生活科」を通じた交流」、教職員の連携では「サ 入学時期前後の連絡会や聞き取り」、保護者への取組では「ネ 園・所の保護者向け入学前小学校授業公開、懇談会、意見交換など」、組織づくりでは「ヒ 校内における組織づくり」である。

⑦園・所における小学校入学を見通した年長児の指導計画の作成・実施状況

回答者（人数）	園長・所長（174名）
質問内容	貴園・所では、小学校入学を見通した年長児の指導計画を作成、実施していますか。「ア」から「ウ」の項目の中からあてはまるものを1つ選び、○をつけてください。



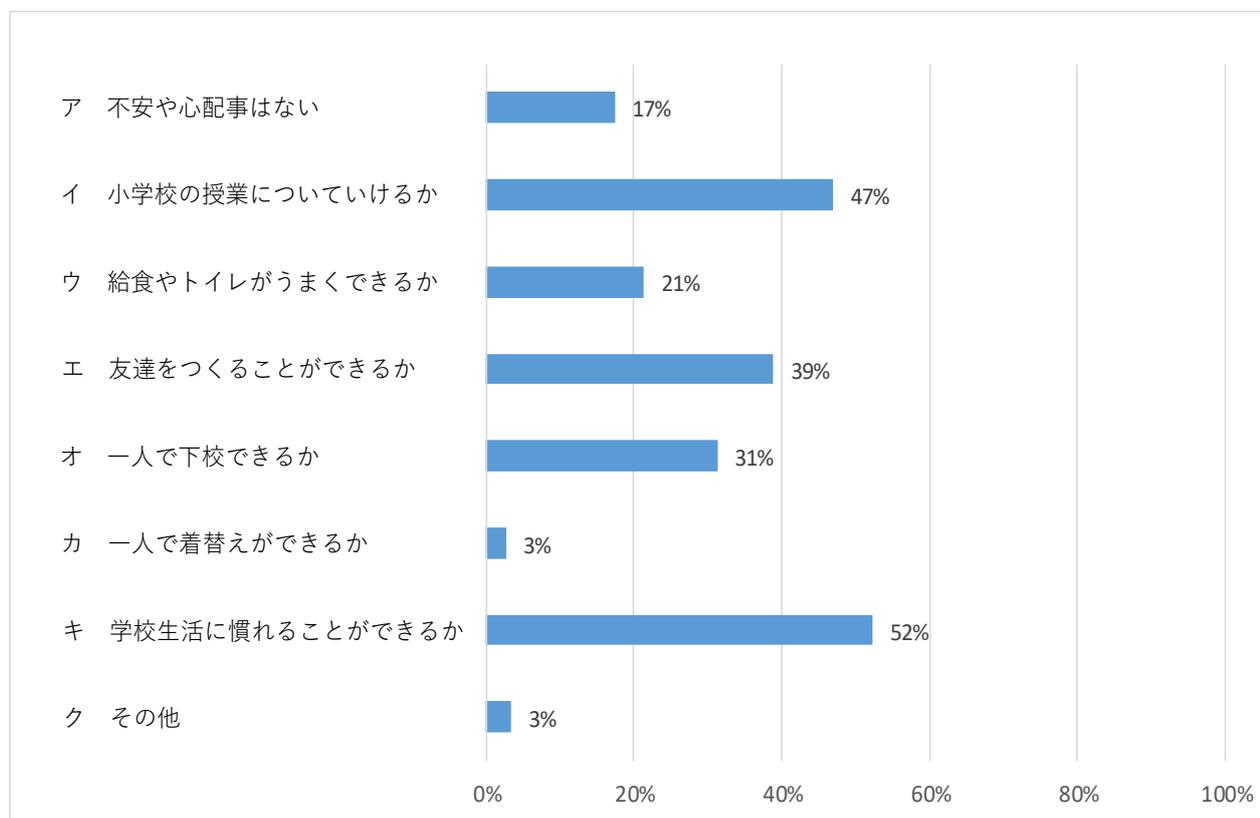
【小学校入学を見通した年長児の指導計画作成の実施状況】

<調査結果>

小学校入学を見通した年長児の指導計画の作成・実施について、63%の園長・所長が「ア 作成し、実施している」と回答している。

⑧小学校入学に際し、不安や心配事

回答者（人数）	年長児保護者（1,409名）
質問内容	小学校入学に際し、不安や心配事がありますか。「ア」から「ク」の項目の中からあてはまるものを全て選び、○をつけてください。



【小学校入学に際し不安や心配事<年長児保護者>】

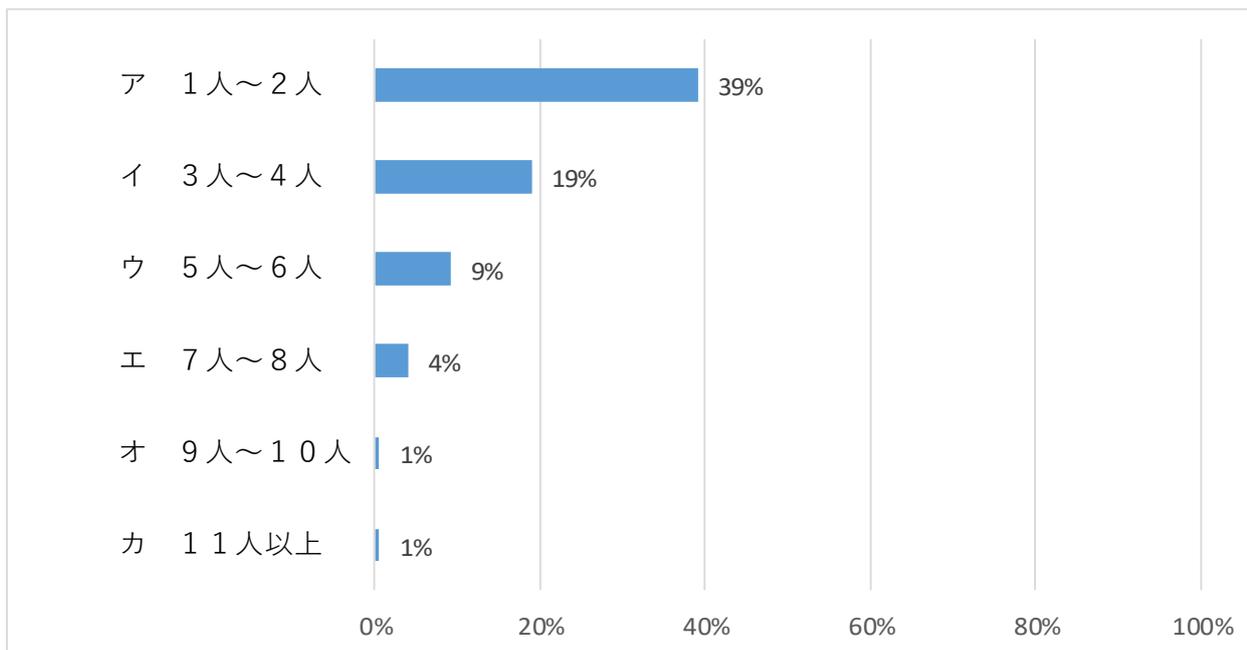
<回答結果>

小学校入学に際し、不安や心配事について、年長児保護者が回答した上位3項目は、「キ 学校生活に慣れることができるか」「イ 小学校の授業についていけるか」「エ 友達を作ることができるか」である。

## 6. 特別な配慮を必要とする乳幼児への教育保育

### ①発達障害等診断を受け特別な支援が必要な乳幼児の在籍状況

回答者（人数）	園長・所長（174名）
質問内容	貴園・所における発達障害等の診断を受け特別な支援が必要な乳幼児の在籍状況について、「ア」から「カ」の項目の中からあてはまるものを選び、○をつけてください。



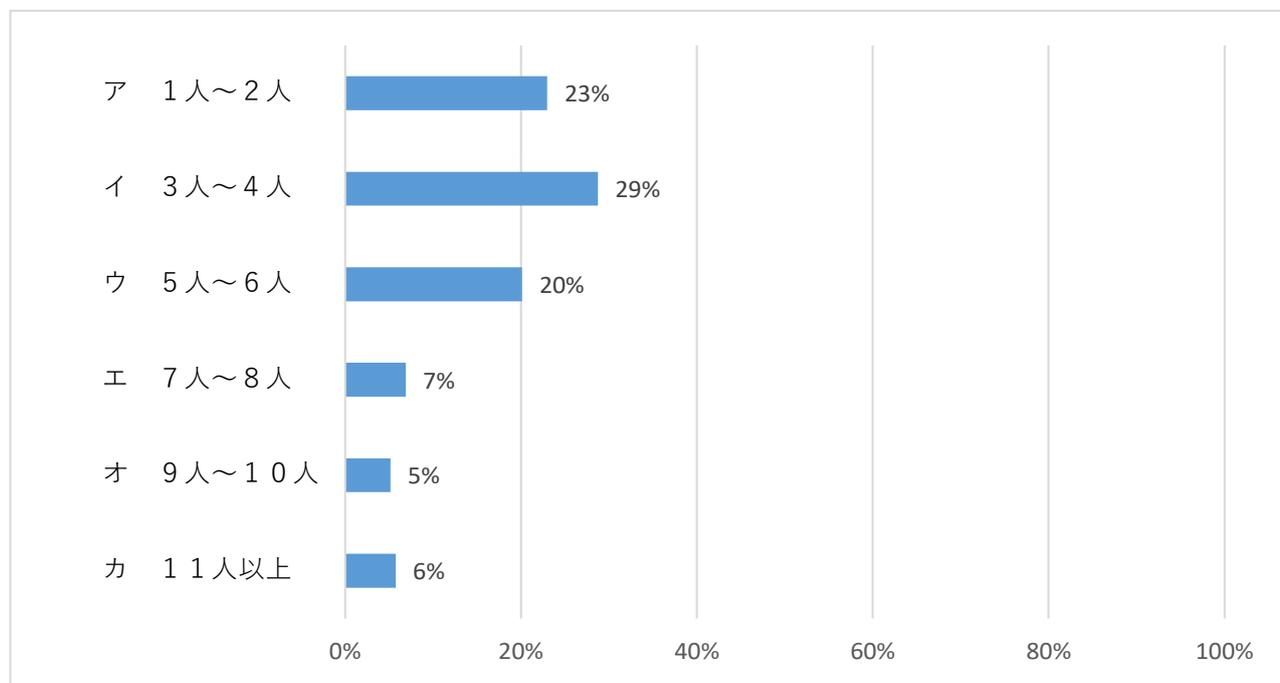
【発達障害等の診断を受け特別な支援が必要な乳幼児の在籍状況】

#### <調査結果>

発達障害等の診断を受け特別な支援が必要な乳幼児の在籍状況について、「ア 1人~2人」いるが最も多く、39%の園長・所長が回答している。

②発達障害等の診断を受けていないが特別な支援が必要と感じている乳幼児の在籍状況

回答者（人数）	園長・所長（174名）
質問内容	貴園・所における発達障害等の診断を受けてはいないが、特別な支援が必要と感じている乳幼児の在籍状況について、「ア」から「カ」の項目の中からあてはまるものを選び、○をつけてください。



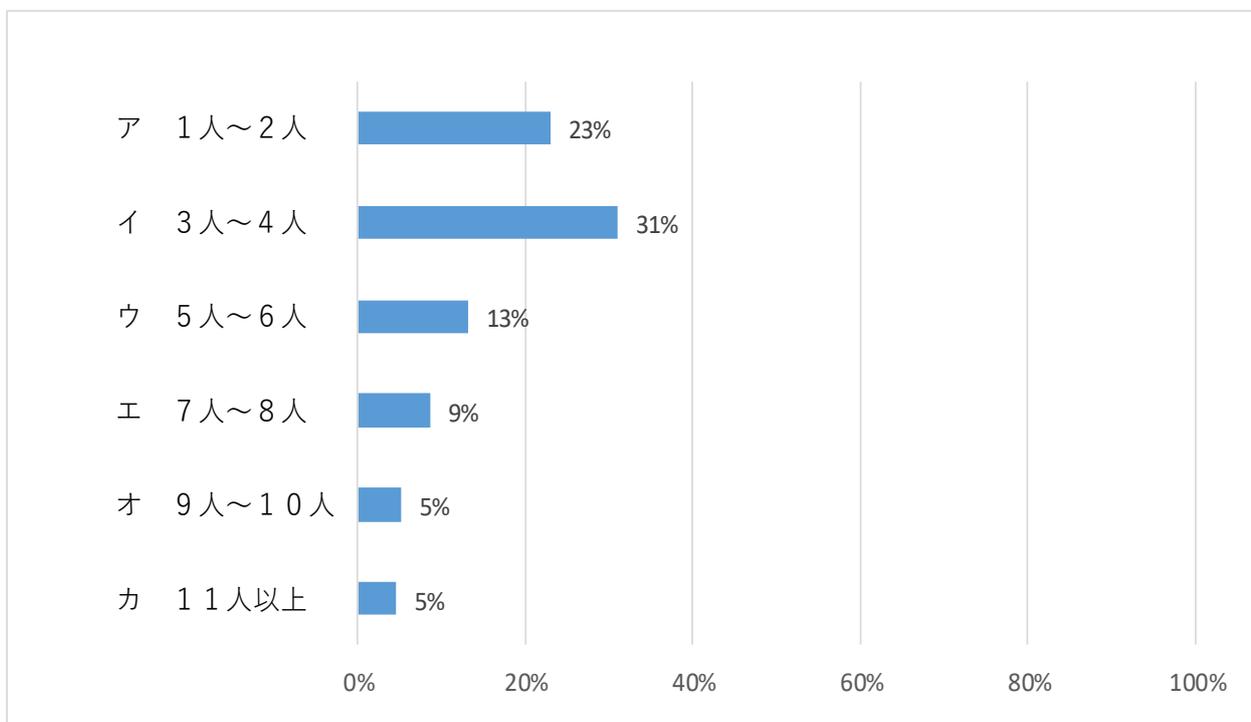
【診断はを受けていないが特別な支援が必要と感じている乳幼児の在籍状況】

<調査結果>

発達障害の診断はを受けていないが、特別な支援が必要と感じている乳幼児の在籍状況について、「イ 3人～4人」いるが最も多く、29%の園長・所長が回答している。

③食物アレルギーにより特別な配慮が必要な乳幼児の在籍状況

回答者（人数）	園長・所長（174名）
質問内容	園・所における食物アレルギーにより特別な配慮が必要な乳幼児の在籍状況について、「ア」から「カ」の項目の中からあてはまるものを選び、○をつけてください。



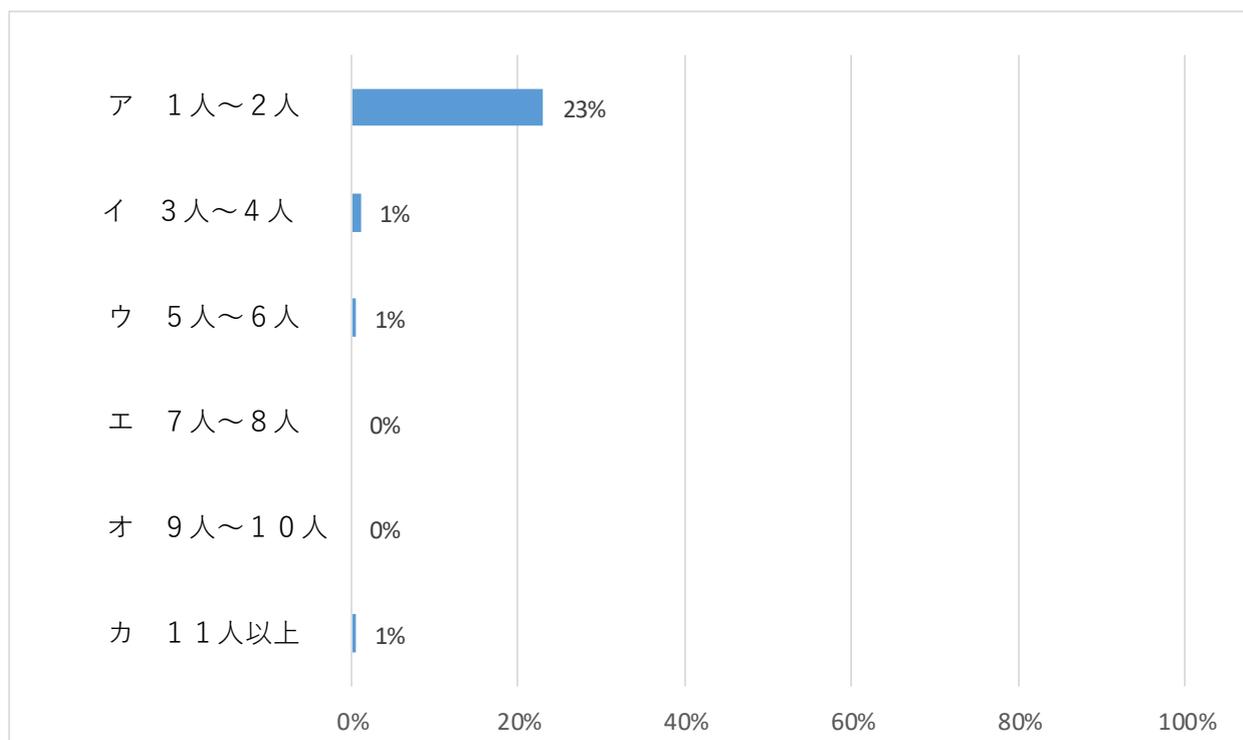
【食物アレルギーにより特別な配慮が必要な乳幼児の在籍状況】

<調査結果>

食物アレルギーにより特別な配慮が必要な乳幼児の在籍状況は、「イ 3人～4人」いるが最も多く、31%の園長・所長が回答している。

④海外から帰国または外国籍で日本語の使用が困難な乳幼児の在籍状況

回答者（人数）	園長・所長（174名）
質問内容	貴園・所における海外から帰国または外国籍で日本語の使用が困難な乳幼児の在籍状況について、「ア」から「カ」の項目の中からあてはまるものを選び、○をつけてください。



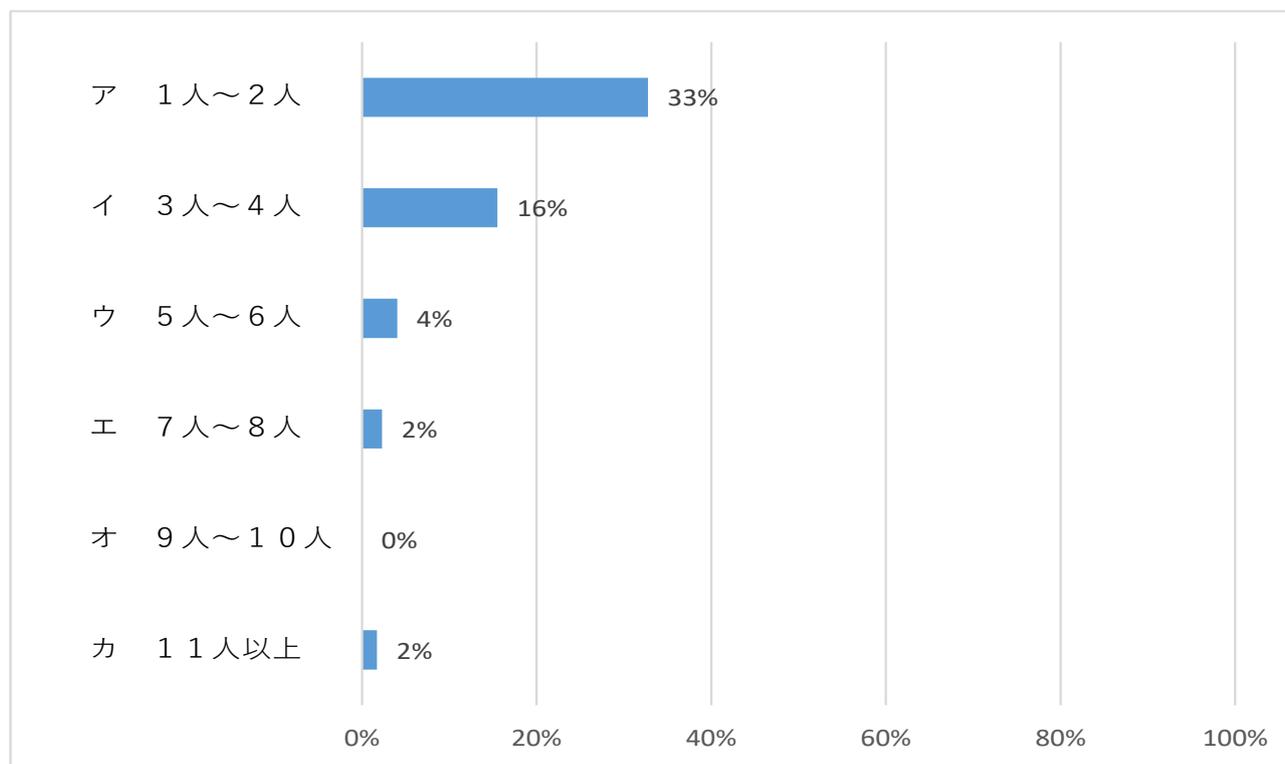
【海外から帰国または外国籍で日本語の使用が困難な乳幼児の在籍状況】

<調査結果>

海外から帰国または外国籍で日本語の使用が困難な乳幼児の在籍状況について、「ア 1人～2人」いるが最も多く、23%の園長・所長が回答している。

⑤保護者の養育により特別な配慮が必要な乳幼児の在籍状況

回答者（人数）	園長・所長（174名）
質問内容	貴園・所における保護者の養育により特別な配慮が必要な乳幼児の在籍状況について、「ア」から「カ」の項目の中からあてはまるものを選び、○をつけてください。



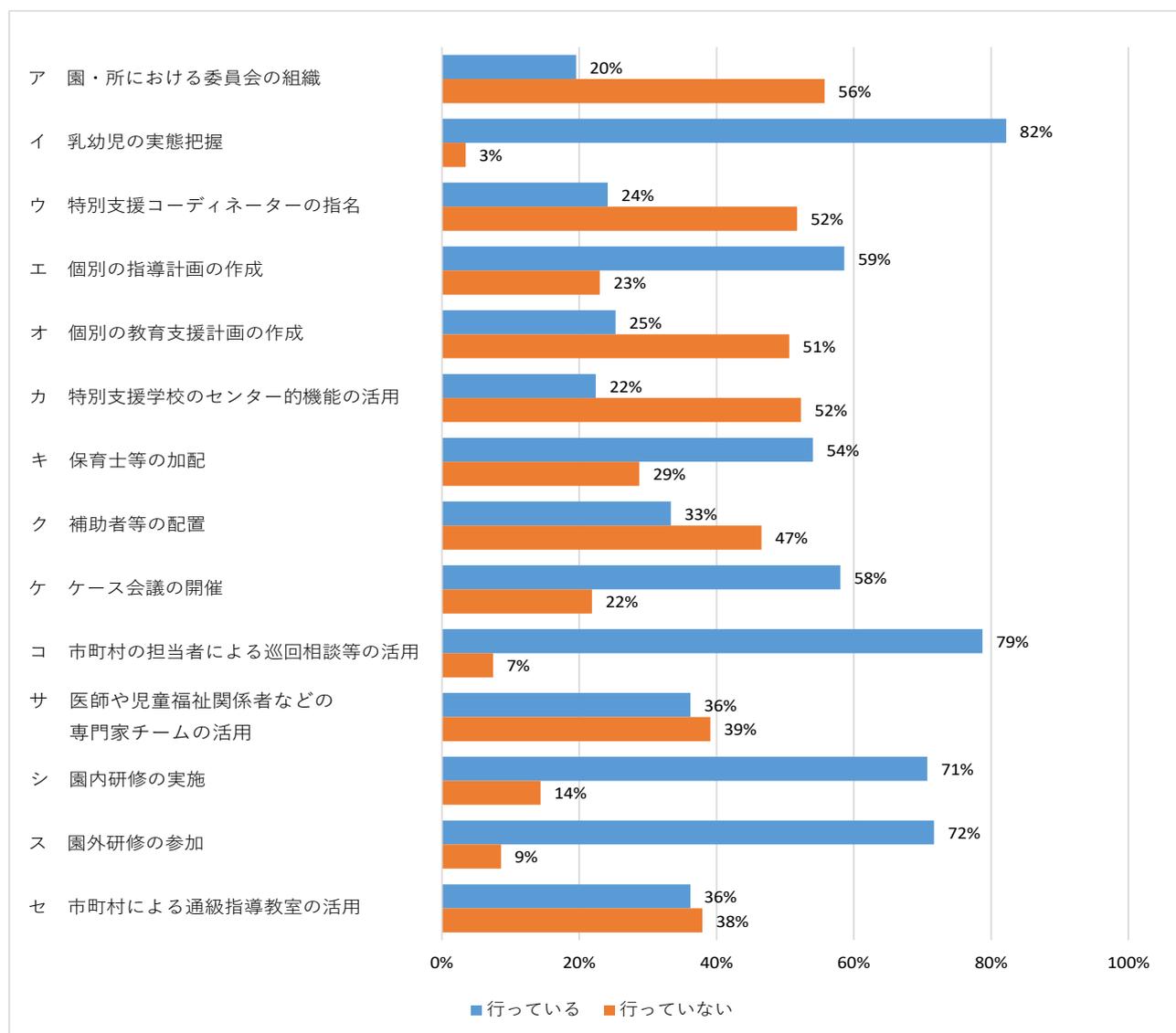
【保護者の養育により特別な配慮が必要な乳幼児の在籍状況】

<調査結果>

保護者の養育により特別な配慮が必要な乳幼児の在籍状況について、「ア 1人～2人」いるが最も多く、33%の園長・所長が回答している。

## ⑥体制や取組状況

回答者（人数）	園長・所長（174名）
質問内容	特別な支援が必要な乳幼児に対応するため、現在、貴園・所で行っている体制や取組を「ア」から「セ」の項目の実施の有無についてどちらかを選び、○をつけてください。



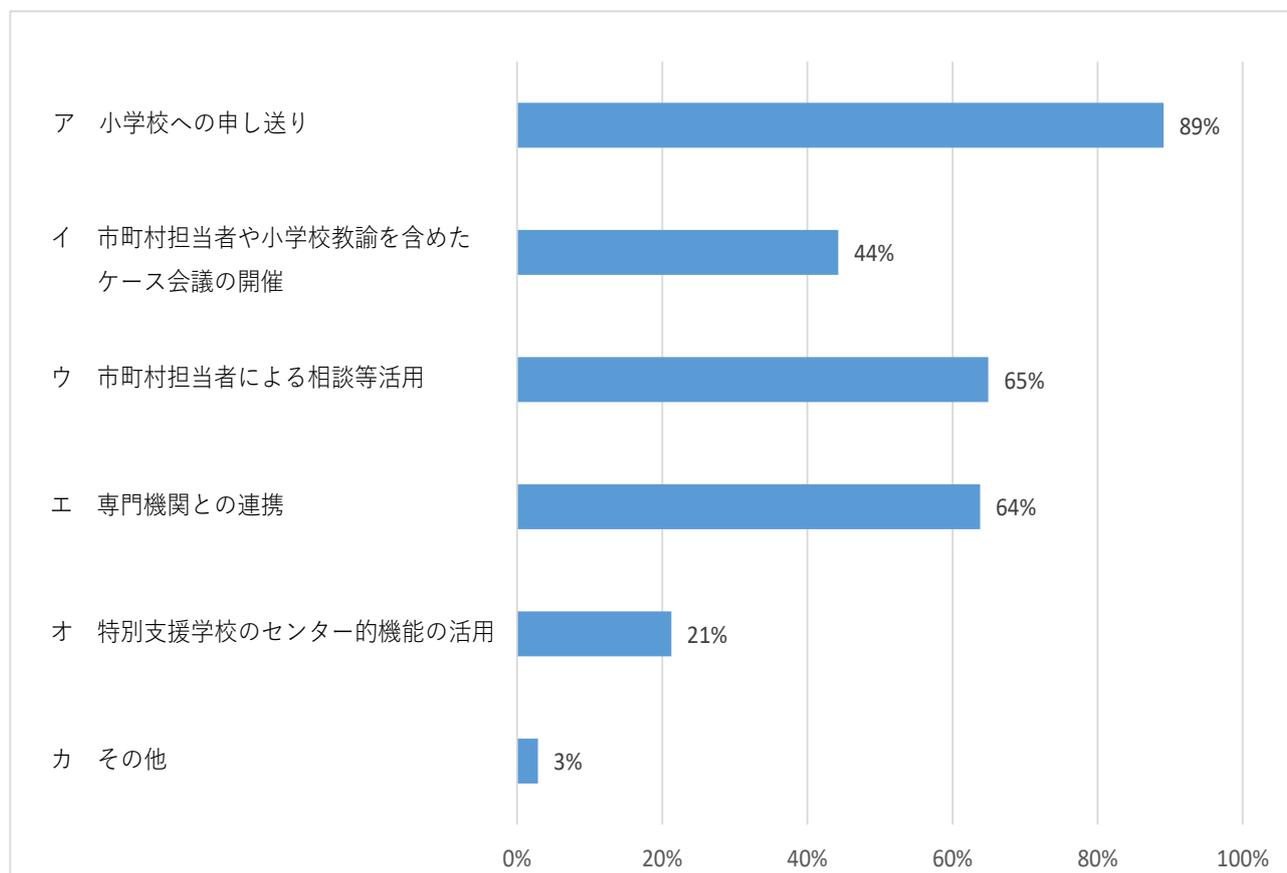
【特別な支援が必要な乳幼児に対応するため、行っている体制や取組】

### <調査結果>

特別な支援が必要な乳幼児に対応するため、現在行っている体制や取組について、園長・所長が回答した上位3項目は、「イ 乳幼児の実態把握」「コ 市町村の担当者による巡回相談等の活用」「ス 園外研修の参加」である。

⑦就学への支援

回答者（人数）	園長・所長（174名）
質問内容	特別な支援が必要な幼児の就学にあたり、貴園・所で行っている支援について、「ア」から「カ」の項目の中からあてはまるもの全てを選び、○をつけてください。



【特別な支援が必要な幼児の就学にあたり行っている支援】

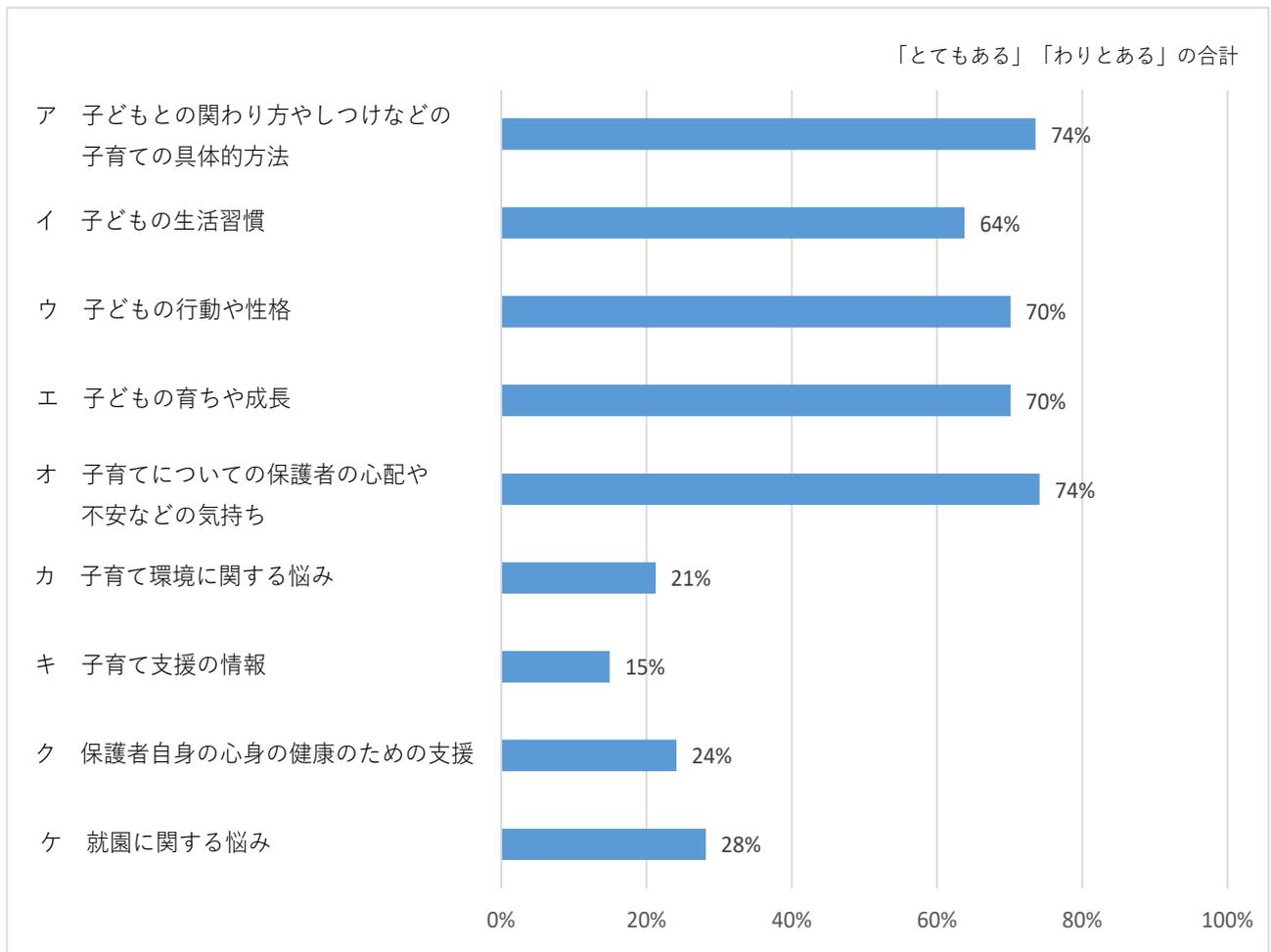
<調査結果>

特別な支援が必要な幼児の就学にあたり、園・所で行っている支援について、園長・所長が回答した上位3項目は、「ア 小学校への申し送り」「ウ 市町村担当者による相談等活用」「エ 専門機関との連携」である。

## 7. 子育て支援

### ①-1 保護者からの相談内容

回答者（人数）	園長・所長（174名）
質問内容	貴園・所では、保護者からどのような相談を受けますか。次の「ア」から「ケ」のそれぞれの項目について、これまでやってきたことを含めて「1とてもある」から「4まったくない」の中からあてはまるものを1つずつ選び、○をつけてください。



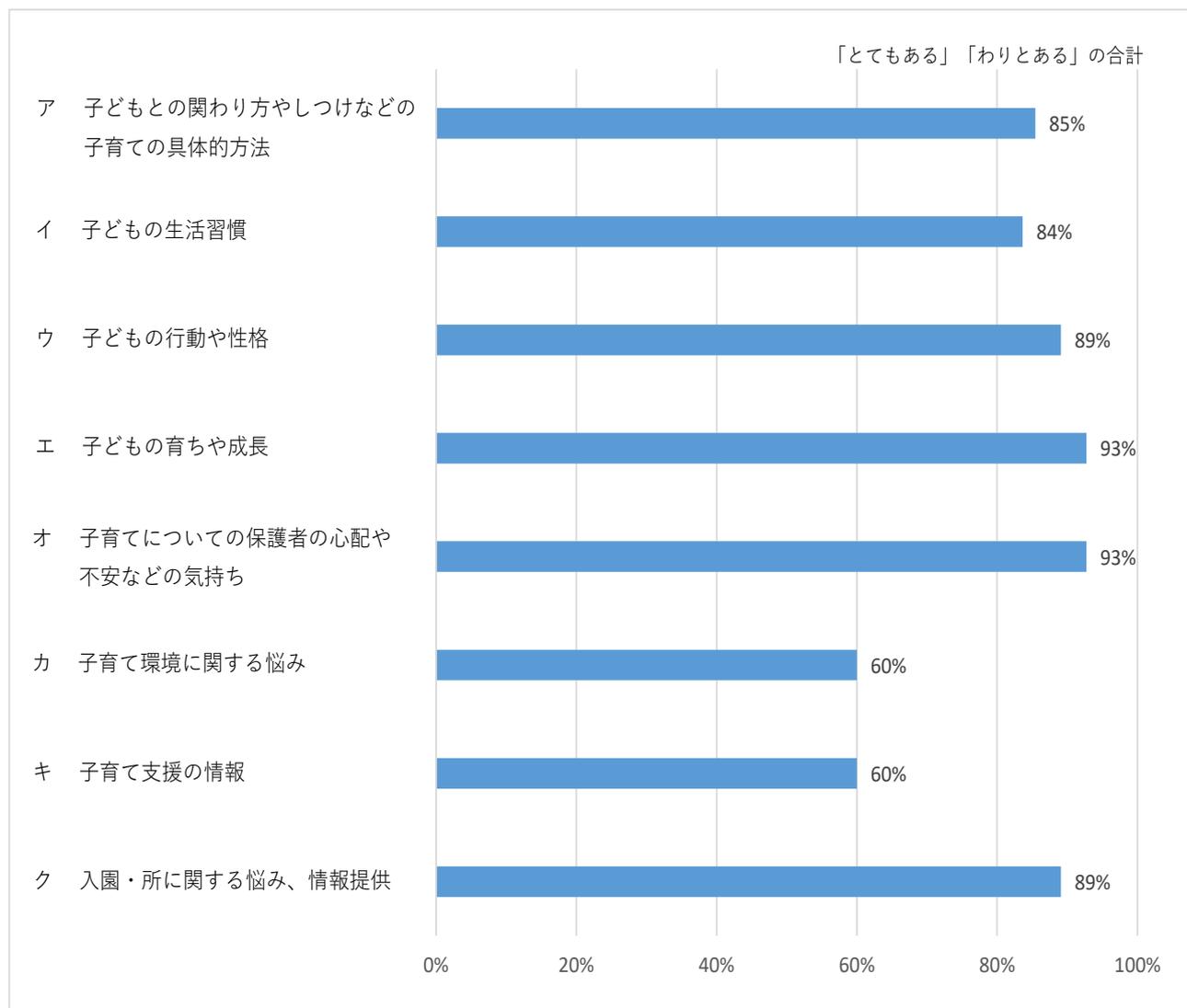
【保護者からの相談内容＜園長・所長＞】

#### <調査結果>

保護者からの相談内容について、園長・所長が回答した上位3項目は、同位で「オ 子育てについての保護者の心配や不安などの気持ち」「ア 子どもとの関わりやしつけなどの子育ての具体的な方法」次いで、同位で「ウ 子どもの行動や性格」「エ 子どもの育ちや成長」についてである。

①-2 保護者からの相談内容

回答者（人数）	子育て支援施設（55名）
質問内容	貴所では、保護者からどのような相談を受けますか。次の「ア」から「ケ」のそれぞれの項目について、これまでやってきたことを含めて「1とてもある」から「4まったくない」の中からあてはまるものを1つずつ選び、○をつけてください。



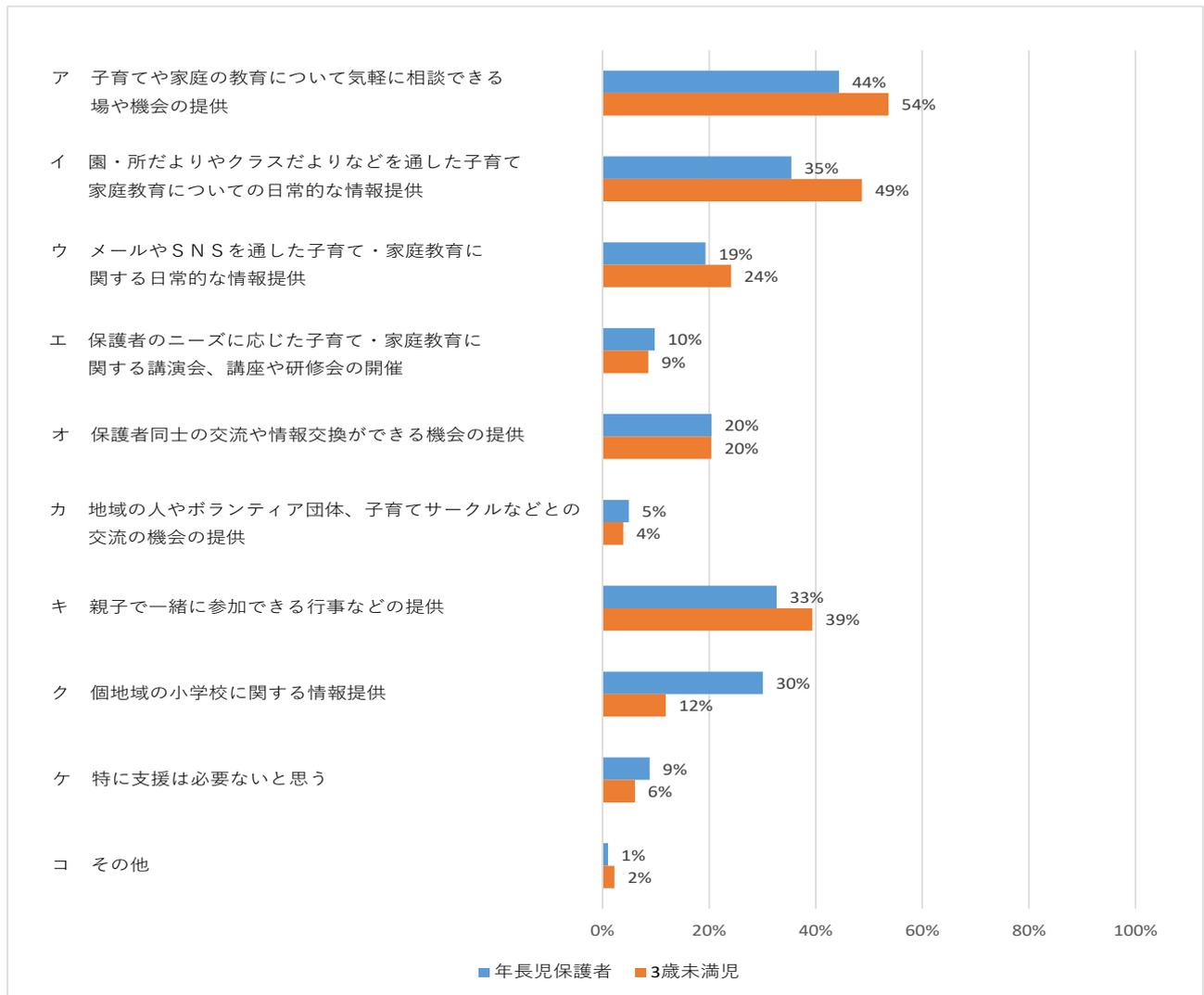
【保護者からの相談内容<子育て支援施設>】

<調査結果>

保護者からの相談内容について、子育て支援施設が回答した上位3項目は、同位で「エ 子どもの育ちや成長」「オ 子育てについての保護者の心配や不安などの気持ち」、続いて同位で「ウ 子どもの行動や性格」「ク 入園・所に関する悩み、情報提供」である。

②園・所に期待する支援

回答者（人数）	年長児保護者（1,409名）・3歳未満児保護者（1,462名）
質問内容	家庭での子育てや家庭教育に対して、園・所からどのような支援があるとよいと思いますか。次の中から特にあてはまるものを3つまで選んで、○をつけてください。



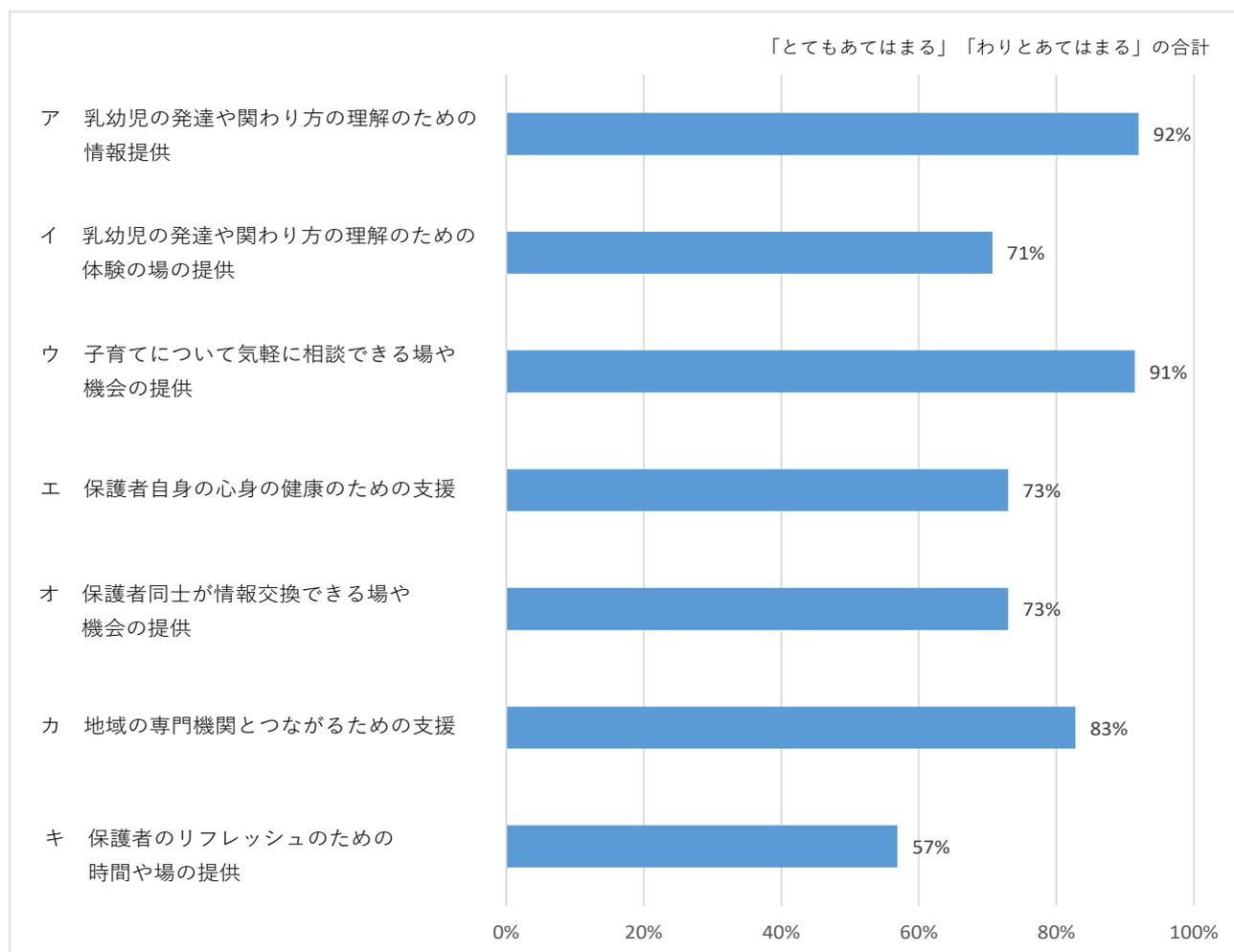
【園・所に期待する支援】

<調査結果>

園・所に期待する支援について、年長児保護者・3歳未満児保護者ともに、上位3項目は、「ア 子育てや家庭の教育について気軽に相談できる場や機会の提供」「イ 園・所だよりやクラスだよりなどを通した子育て家庭教育についての日常的な情報提供」「キ 親子で一緒に参加できる行事などの提供」である。

③-1 乳幼児を育てている保護者に必要な支援

回答者（人数）	園長・所長（174名）
質問内容	乳幼児を育てている保護者に対して、どのような支援が必要だと思いますか。次の「ア」から「キ」のそれぞれの項目について、「1とてもあてはまる」から「4まったくあてはまらない」の中からあてはまるものを1つずつ選び、○をつけてください。



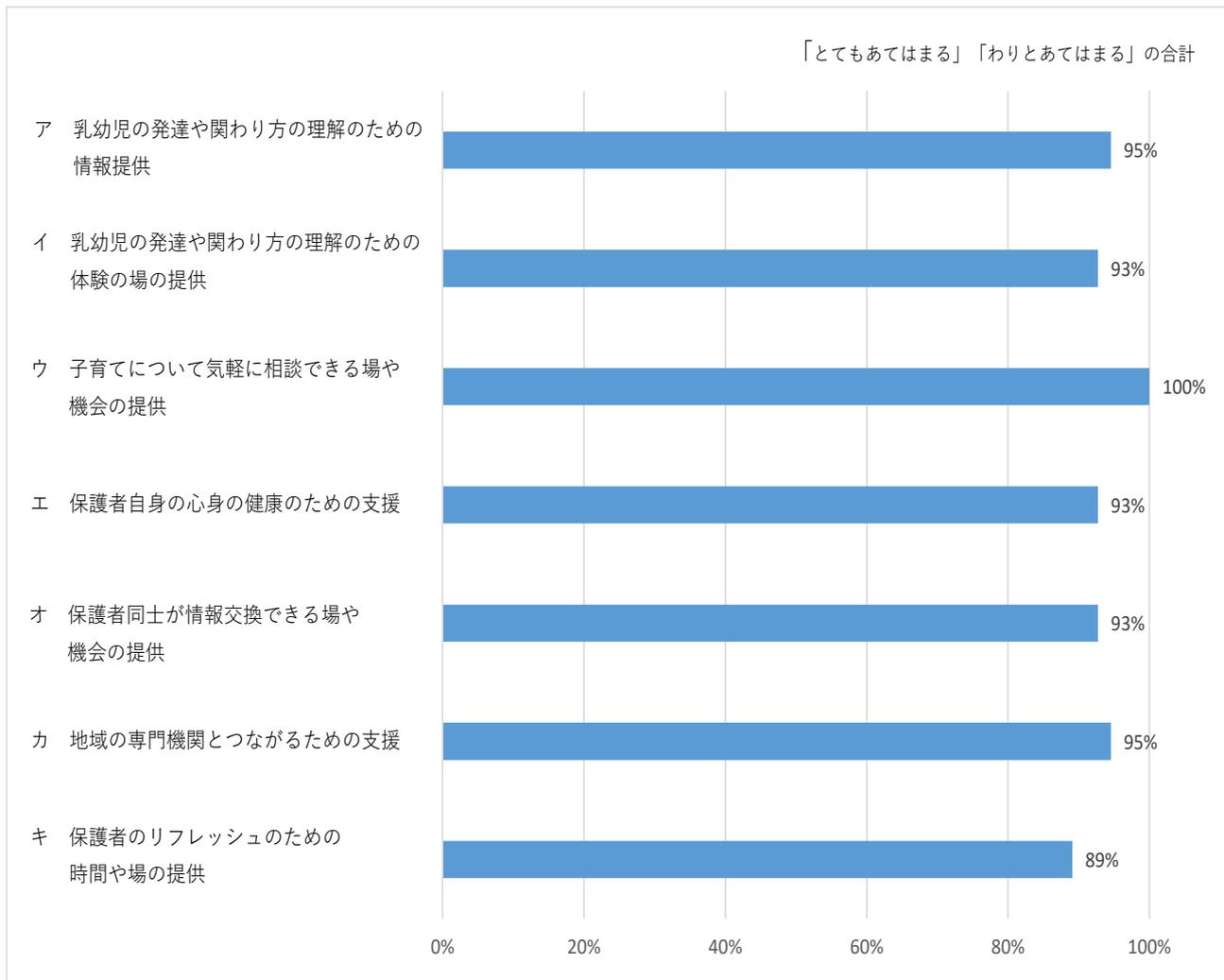
【乳幼児を育てている保護者に必要な支援】

<調査結果>

乳幼児を育てている保護者に必要な支援について、園長・所長が「あてはまる」と回答した上位3項目は、「ア 乳幼児の発達や関わり方の理解のための情報提供」「ウ 子育てについて気軽に相談できる場や機会の提供」「カ 地域の専門機関とつながるための支援」である。

③-2 乳幼児を育てている保護者に必要な支援

回答者（人数）	子育て支援施設（55名）
質問内容	乳幼児を育てている保護者に対して、どのような支援が必要だと思いますか。次の「ア」から「キ」のそれぞれの項目について、「1とてもあてはまる」から「4まったくあてはまらない」の中からあてはまるものを1つずつ選び、○をつけてください。



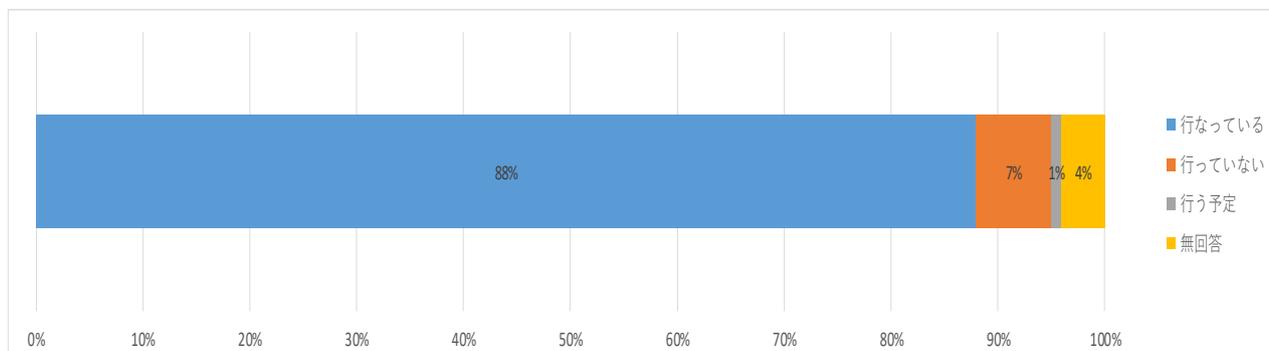
【乳幼児を育てている保護者に必要な支援】

<調査結果>

乳幼児を育てている保護者に必要な支援について、子育て支援施設が「あてはまる」と回答した上位3項目は、「ウ 子育てについて気軽に相談できる場や機会の提供」「ア 乳幼児の発達や関わり方の理解のための情報提供」「カ 地域の専門機関とつながるための支援」である。

#### ④子育て支援の有無

回答者（人数）	園長・所長（174名）
質問内容	貴園・所では、子育て支援を行っていますか。まず、支援の有無を「行っている」「行っていない」「行う予定」から選び○をつけてください。



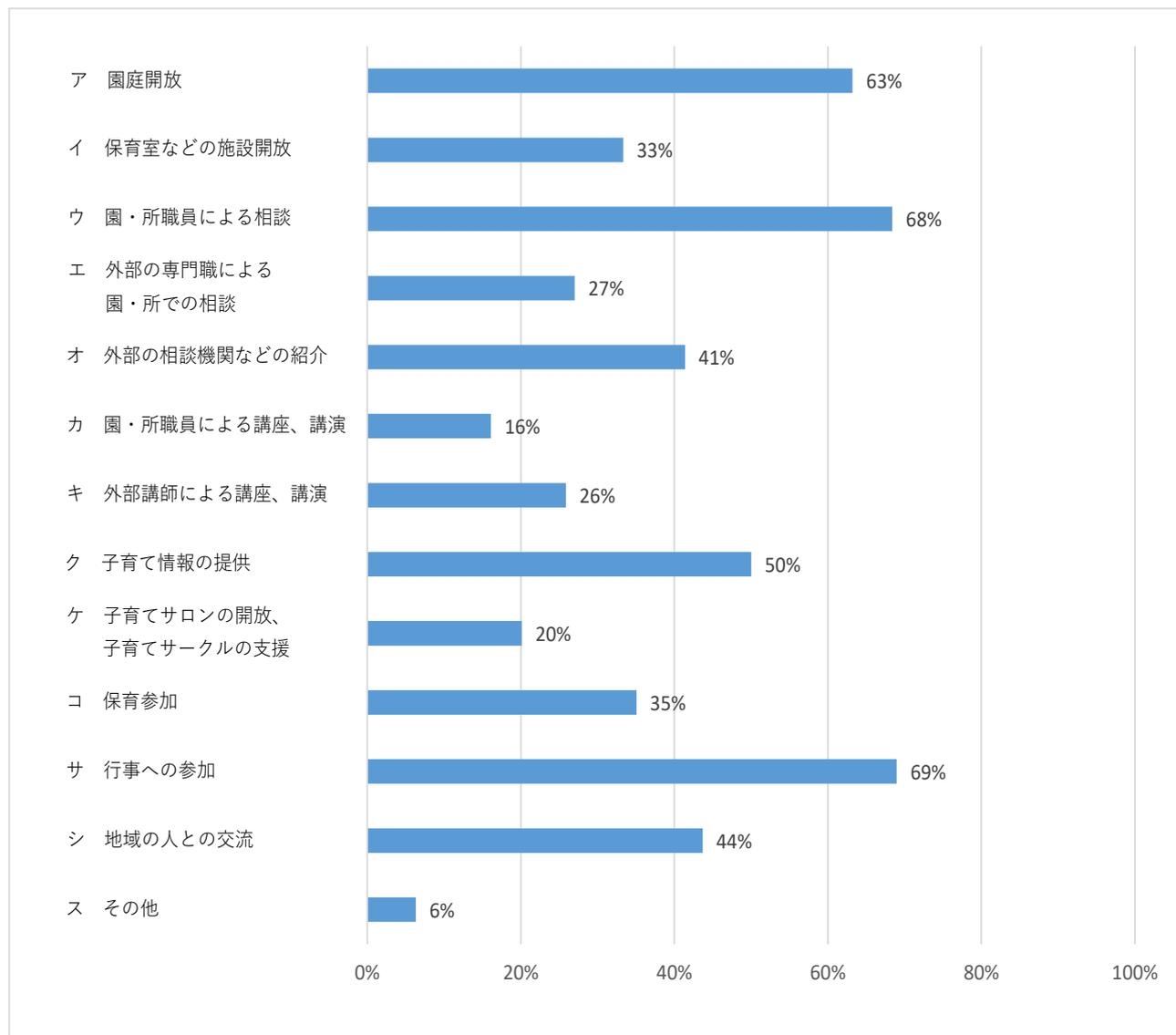
【子育て支援の有無】

#### <調査結果>

子育て支援の有無について、88%の園長・所長が「行っている」と回答している。

⑤子育て支援の内容

回答者（人数）	園長・所長（174名）
質問内容	貴園・所では、子育て支援を行っていますか。行っている場合は、「ア」から「ス」の項目についてあてはまるものを全て選び、○をつけてください。



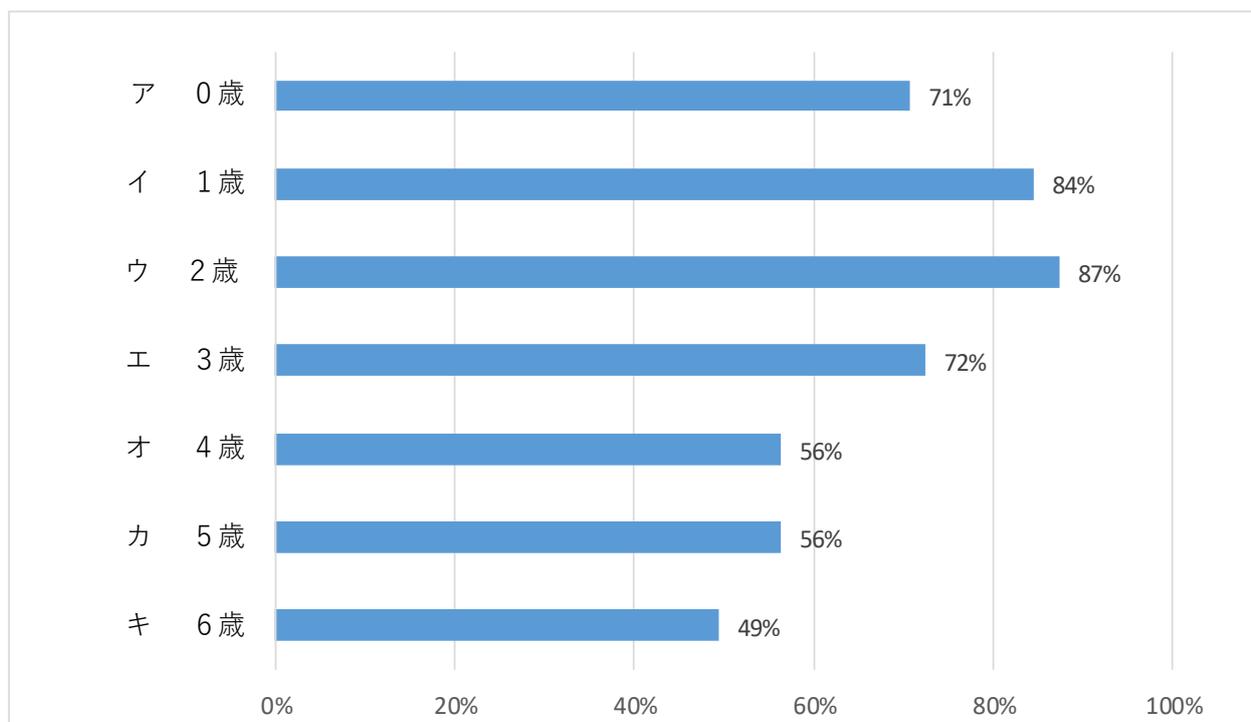
【子育て支援の内容】

<調査結果>

園・所で行っている子育て支援について、園長・所長が回答した上位3項目は、「サ 行事への参加」「ウ 園・所職員による相談」「ア 園庭開放」である。

⑥子育て支援対象年齢

回答者（人数）	園長・所長（174名）
質問内容	子育て支援を行っている場合、その対象年齢は何歳ですか。「ア」から「キ」の項目の中から該当する年齢を全て選び、○をつけてください。



【子育て支援の対象年齢】

<調査結果>

子育て支援を行っている対象年齢について、園長・所長の回答では「ウ 2歳」が最も多い。3歳未満児の割合が高い。